文部科学省　科学技術振興調整費　戦略推進費
地域再生人材創出拠点の形成プログラム

九州大学大学院芸術工学府
ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
事業報告　平成 19 ～ 23 年度

hme
hall management engineer
faculty of design
kyushu university
fukuoka 815 8540

目次

1. ホールマネジメントエンジニア育成ユニット開設経緯 ・・・・・・・・・・・2
1.1 九州大学大学院芸術工学府とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1.2 音響設計学科とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1.3 公立文化会館の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
2．ホールマネジメントエンジニア育成ユニット ・・・・・・・・・・・・・・・6
2.1 HME とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
2.2 育成対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
2.3 教育内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
3．HME 育成ユニットの推進組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
3.1 実施委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
3.2 関連推進組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
3.3 教育人材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
4. 運営実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
4.1 履修・修了実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
4.2 連携公演事業等実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
4.3 シンポジウム等開催実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
4.4 情報発信実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
5．後継教育プログラムについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
HME 育成ユニット教材等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
HME 育成ユニット書籍等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
HME 育成ユニット設備等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55

1．ホールマネジメントエンジニア育成ユニット開設の経緯

1.1　九州大学大学院芸術工学府とは

九州大学大学院芸術工学府は旧九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科が平成 15 年 10 月の九州大学との統合により名称変更したものである。この旧九州芸術工科大学は昭和 43 年４月に開学し、当時日本初めての「芸術工学部」を持つ単科大学として発足した。この大学は九州に「芸術大学」の設置を望む地域の要望が文部省に採択されず、諸々の議論の末、当時の経済復興優先による「公害」や「人間疎外」をなくするための新しい「技術」の進路を計画するために設置された工科大学である。大学名として「人間」重視という意味で「芸術」を用い「九州芸術工科大学」、学部としては「芸術工学」という新しい名称とした。開学当初は「環境設計学科」、「工業設計学科」、「画像設計学科」、「音響設計学科」の４学科構成であった。

1.2　音響設計学科とは

この「音響設計学科」は「音」をキーワードに音楽学、音組織論、音楽史、楽器演奏、心理音響、聴覚、騒音、音響分析合成、音響構成、室内音響学、騒音制御、音響記録･再生、音響理論、電気音響、情報理論、制御工学、電気･電子工学、主観評価など多くの「音」に関する専門教育を施す学科である。これまでの総合大学における「音」に関する専門教育を一つの学科としてまとめたものである。従って、入学してくる学生はピアノ演奏をはじめとする音楽芸術に関する教育を受け、音響心理を学び、最新技術としてのディジタル信号処理工学の教育までを受けることとなる。そして卒業生は「音楽芸術」用語から「工学技術」用語までを理解し議論することのできる人材となる。これまでに 1500 名ほどの卒業生を輩出しているが、それぞれ電気音響機器製造業、放送･通信業、楽器製造業、ゲーム産業、建設業、音響設計コンサルタント業、自動車産業、ソフトウェア産業、大学･研究機関などで「音」のわかる技術者として活躍している。それらの中でも本報告題名に関係する分野で挙げれば「音響設計コンサルタント業」での活躍がある。

サントリーホール
（写真提供：永田音響設計）

この音響設計コンサルタント業の主な仕事は「騒音制御」と「室内音響設計」である。特に文化会館におけるホールの静寂の確保（騒音制御）とホールの響きの調整（室内音響設計）は文化会館建設における必須の作業である。昭和 47 年春、音響設計学科の第 1 期生が卒業する頃に始まった「文化会館」建設ラッシュに対応して、卒業生が多くの文化会館ホールの音響設計を実施してきた。大都市から地方の小市町村の施設に至るまで関係してきている。また日本のみならず海外のホールに関しても音響設計を担当している。それらの中で主なものを挙げると、国内では「カザルスホール」、「サントリーホール」、「新国立劇場」、「東京芸術劇場」、「ザ・フェニックスホール」、「北九州芸術劇場」等々があり、国外では「Walt Disney Concert Hall」、「Sydney Opera House Concert Hall(Renovation)」、「Radio France Auditorium」、「Helsinki Music Center」、「Danish Radio Center」、「Mariinsky Theater Concert Hall」、「深圳文化中心音楽庁」等々がある。これらはほんの一例であり、他にも多くの施設を担当している。このように「九州芸術工科大学」音響設計学科の卒業生は文化会館ホールの音響設計、すなわち施設の「建設」には大きく貢献してきた。

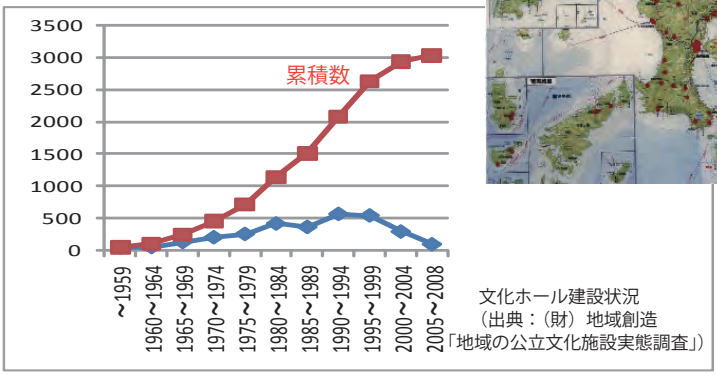
Walt Desney Concert Hall
（写真提供：永田音響設計）

1.3　公立文化会館の現状

一方、バブル経済のまっただ中、各地で「文化ホール」が数多く建設された。「地域創造」の調査報告では平成 20 年まででホール数は 3074 となっている。建設数の経年変化は下に示すようなものである。バブル経済絶頂期の 1990 年から 5 年間で 573 ものホールが建設されている。一年間に換算すると 115 ものホールが建設されたことになる。九州地域に限ってみれば、現在 300 館ほどの施設が存在する。それがどのような地域分布になっているかを見るために地図上に存在位置を赤丸でプロットしてみた。やはり人口集中地域に多く位置しており、山間部では希薄となる。しかし各地域に広く存在していることも見て取れる。

また、これらの多くの文化ホールが不明確な文化政策目標のもとに建設されてきたことも事実である。このことから管理運営担当者の努力にも関わらず、「箱物行政」と批判されることが多々存在した。このような結果を招いた理由の一つに文化ホールの設置に関する法律的根拠がなかったことが挙げられる。同様な文化施設としての博物館（美術館、水族館、動･植物園も含まれる）には「博物館法」という設置法があり、博物館を設置する場合には「学芸員」という専門家の配置が必要であり、その専門家の定義も明確である。また、その人材育成に関しては各大学等で必要な科目の単位取得が義務づけられている。同様に図書館の設置においても「図書館法」という設置法が存在し、「司書」という専門職の定義からその教育機関まで存在する。しかし、文化ホールとなるとその設置建設には博物館や図書館の建設と同様かそれよりも多くの経費を必要とし、施設運営には専門的知識が必要である。また施設内には舞台機構、照明、音響といった非常に高価で取り扱いに専門的知識と技術が必要な設備が存在する。しかるに「設置法」が存在しないのである。

九州地域における文化ホール分布図
（地図使用承認 © 昭文社第 12W004 号）



文化ホール建設状況
（出典：（財）地域創造
「地域の公立文化施設実態調査」）

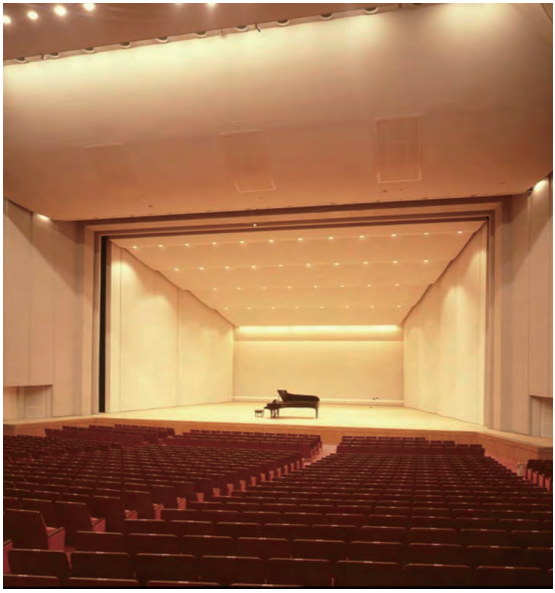
博物館・美術館等

図書館

劇場・音楽堂等

ところで、この文化ホールの法的扱いは単なる集会場としての「公民館」の設置法（社会教育法第 21 条第１項）に基づいている。そこには事業内容は明記してはあるが、具体的な実施手法、専門家の配置義務など何も謳われてはいない。同法の中には「博物館」、「図書館」の設置管理に関しても記されており、これらの施設に関しては別法で定めることとしている（社会教育法第９条）。これらがいわゆる「博物館法」、「図書館法」である。

これに対して近年「劇場法（仮称）」の法制化が進められている。（社）日本芸能実演家団体協議会（略称：芸団協）等の働きかけで、現在文化庁において「劇場・音楽堂等の制度的な在り方に関する検討会」が設置され鋭意検討されている。昨年（2011 年）末にその中間まとめが公表され、それに対する意見募集も行われた。また、「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第３次）」では重点戦略の一つに「文化芸術を創造し、支える人材の充実」があり、そこでは「雇用の増大を図ることも念頭に置き、文化芸術活動や施設の運営を支える専門的人材の育成・活用に関する支援を充実する」となっている。芸団協を中心に議論され、まとめられた提言では施設への専門職人材の配置を推奨しており、その専門職人材として、「芸術責任者」、「経営責任者」、「技術責任者」の３つの専門職が挙げられている。すべての施設に３名の専門職人材を配置することは不可能に近いであろうが、基本的にはこの３専門職の「職能」が必要であることを意味している。



写真提供：福岡サンパレス

2. ホールマネジメントエンジニア育成ユニット

先に述べたように音響設計学科の卒業生の内、建築音響設計関係の職に従事するものたちは文化ホールの音響設計、すなわち文化ホールの「建設」には大きく貢献してきた。しかし、1.3 に述べたようにこれらの文化ホールは十分に活用されているとは言えず、それらを管理運営するための専門職人材育成が求められている。平成 15 年に導入された「指定管理者制度」により文化ホールの活用は盛んになりつつあるが、そこでも専門職人材の育成は課題となっている。

そこで九州大学大学院芸術工学研究院では学部音響設計学科担当の教員有志により、これまでの「建設」に貢献できる人材は育成しつつも、加えて「活用」に貢献できる人材育成の計画が持ち上がった。想定した育成人材像の議論は芸団協の提言とは独立していたが、結果的には芸術的感性、マネジメント感性、技術的感性の 3 素養を合わせ持つ人材であった。この人材育成を学内の教育人材で賄うには教育内容が広範囲であったため予算申請することとした。申請対象は「文部科学省科学技術振興調整費」の「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」である。育成される人材の活躍の場は「文化芸術の振興」に関する分野ではあるが、芸術工学研究院が元々工学系であり、技術者育成が基本目標であることから「科学技術振興調整費」への申請とした。また、文化ホールの活用を推進することは地域の文化力を高め、「地域再生」につながるものであると考えたからである。育成する人材は工学技術を基盤として、文化ホールと呼ばれる施設の管理運営を総合的に行える素養を持つものであり、その命名は「ホールマネジメントエンジニア（HME）」とした（以降 HME と略する）。また、このプログラムは地方市町村の「地域再生計画」と連携することが義務づけられるものであり、本申請は福岡市の地域再生計画の中に位置づけられることとなった。２度の挑戦の結果、平成 19 年度実施の事業として採択された。国からの助成が受けられるのは 5 年間であり、その助走期間の後は地域と大学で人材育成を継続していくことが課せられた。

HME 育成ユニット修了者に与えられるバッジ

2.1　HME（ホールマネジメントエンジニア）とは

HME とは、劇場•ホールなどの文化施設で活動する多くの専門職人材間の統括調整の役割を果たす人材であり、劇場総支配人的人材を指す。本ユニットで学んだ修了生の将来像は

（1）舞台機構、音響、照明に関する工学的知識を基盤として、
（2）文化芸術に関する知識と感性、
（3）地域文化芸術振興のための公共政策知識、
（4）地域文化芸術振興事業の企画実践能力
を持ち、これらの幅広い分野の統括ができ、施設の総合的管理運営能力を有するものである。

2.2　育成対象

HME 育成ユニットは九州大学大学院芸術工学府（大学院教育組織）に通常の「専攻•コース」ではなく、「履修証明プログラム」として開設することとした。ここで学んでもらいたい対象者は、

（1）九州大学芸術工学部で音響設計学を習得したもの、
（2）大学において音響、照明、舞台機構などの工学的教育を受けたもの、
（3）大学において舞台芸術、アートマネジメント、文化政策などの教育を受けたもの、
（4）既に文化施設などでの実務経験があり、更に総合的な管理運営に視野を広げようとする社会人である。

社会人は大学院生としてはもちろんのこと、科目等履修生としても受け入れることとした。

2.3 教育内容

本育成ユニットの教育内容としては大きく 4 つにわけ、それぞれに育成人材像に適した授業科目を配置した。それらは以下に示す 19 科目である。

（1）ホール芸術科目群

(A) 芸術文化論

(B) 西洋における舞台芸術

(C) 東洋における舞台芸術

(D) 演劇と文化芸術

(E) 電子音響芸術表現

（2）ホールマネジメント科目群

(F) アートマネジメント

(G) 芸術文化と政策

(H) 芸術文化と環境

(I) 芸術文化と施設運営

(J) プロデュースとストラテジー

（3）ホール工学科目群

(K) ホールと工学技術

(L) 空間の響き

(M) 音響の再生（平成 20 年度のみ開講）

(N) 発音機構と音放射

(O) 拡声と収音

(P) 舞台と機構

(Q) 舞台と照明

（4）共通科目群

(R) ホールマネジメントプロジェクト I

(S) ホールマネジメントプロジェクト II

上記（1）、（2）、（3）の各授業は半期に 90 分授業が 15 回開講される。そして期末試験に合格すれば 2 単位が与えられる。また（4）の授業科目ホールマネジメントプロジェクト I,II（以降 HMPI,II と略する）は通年で開講され、合格すれば各 4 単位が与えられる。太文字で示す授業科目は必修科目であり、本育成ユニット「修了」の証明を受けるにはこれらの全必修科目（14 単位）の他に 8 科目 16 単位を履修しなければならない。すなわち合計 30 単位の取得を条件として「修了」の証明をすることとした。

（1）、（2）、（3）の各群授業内容は科目名から推測はつくが、（4）の共通科目群については少し説明が必要である。この科目は演習型の授業である。授業内容は、ホール芸術科目群、ホールマネジメント科目群、ホール工学科目群をバランスよく履修することで得られた知識、能力を駆使し、実際の公演事業を企画遂行することが課題である。この公演事業は有料公演とすることを基本としていることと、国からの補助金（当初は委託事業費、平成 21 年度より補助金となる）の性格から地域の文化施設の協力を得ることが必要であった。幸いに福岡市内及び近隣の文化施設への協力依頼は快く受け入れられ、大学・文化施設連携事業として実施することが可能となった。すなわち地域の文化施設が実施する自主事業の企画提案を大学が行い、実施の主体（経費負担）は施設側である。もちろん企画から実施までには両者での十分な議論が行われ、両者納得の上での実施となる。

3．HME 育成ユニットの推進組織

3.1　実施委員会

本プロジェクトは九州大学総長を代表者として実施されるわけであるが、具体的な推進には芸術工学府にもうけられた「HME 育成ユニット実施委員会」が担当した。構成員は以下の常勤教員である。

- 藤原恭司（元プロジェクトリーダー　平成 21 年度まで）
- 清須美匡洋
- 芦川紀子 (サブプロジェクトリーダー）
- 鏑木時彦
- 尾本章（プロジェクトリーダー　平成 22 年度から）
- 鮫島俊哉
- 河原一彦

これに加えて本プロジェクトに雇用された推進メンバーが参画した。それらのメンバーは下記に示す通りである。

- 山田修三（学術研究員）
- 角美弥子（学術研究員（平成 21 年 7 月まで））
- 森奈都子（学術研究員（平成 21 年 12 月まで））
- 福田裕美（学術研究員（平成 21 年 9 月から））
- 権藤智海（テクニカルスタッフ）
- 橋本明子（事務補佐員）
- 藤原恭司（学術研究員（平成 22 年度から））

これらのメンバーにより HME 育成ユニットの具体的な推進が図られた。

3.2　関連推進組織

学内に設置された実施委員会の他に、自治体としての福岡市を始め、近隣都市の連携協力文化施設などから構成される「HME 育成ユニット連携会議」、学外講師を含む授業担当者全員から構成される「HME 育成ユニット全体会議」を組織し、連携事業の在り方の議論や授業内容の改善など実施委員会のみでは解決できない諸問題を討議した。

また、本育成ユニットの実施状況を外部の視点から評価を受けるために学外有識者により構成される「HME 育成ユニット外部評価委員会」を設置した。平成 21 年度、平成 23 年度の 2 回開催し、それぞれの時点での評価を受け改善に努めた。

3.3 教育人材

九州大学内の教育人材のみでは先に示した授業内容を全て講義することは困難であった。そこで学外より講師を招聘した。結果として次に示すような教員陣容となった。

学外講師は以下の通りである。氏名の後のアルファベットは 2.3 の授業科目担当を意味する。（所属、役職は平成 20 年当時のものである）

利光功（前大分県立芸術文化短期大学学長）	(A)
簑田司郎（日本音楽集団 / 三味線演奏家）	(C)
佐々木健一（日本大学教授（平成 20 ～ 21 年度））	(D)
小坂弘治（元博多座総支配人（平成 20 ～ 22 年度まで））	(D)
檜垣智也（大阪芸術大学非常勤講師）	(E)
徳丸吉彦（聖徳大学教授）	(G)
清水裕之（名古屋大学大学院教授）	(I)
與謝野久（日建設計総合研究所代表取締役）	(K)
日高孝之（竹中工務店技術研究所リサーチフェロー）	(L)
西口磯春（神奈川工科大学教授）	(N)
木村博行（Light Stage 代表取締役（平成 20 年度のみ））	(O)
市来邦比古（世田谷パブリックシアター技術部長（平成 21 年度から）	(O)
森健輔（森平舞台機構代表取締役社長）	(P)
加藤憲治（ライティングビッグワン取締役社長）	(Q)

また、学内教員としての参画者は以下の通りである。

芦川紀子准教授	(B),(F)
中村滋延教授	(C)
矢向正人准教授	(C)
大島久雄准教授（平成 23 年度のみ）	(D)
藤原惠洋教授	(H)
清須美匡洋教授	(J)
都甲康至教授	(J)
藤原恭司教授（平成 21 年まで）	(K)
尾本章准教授	(L),(K)
鮫島俊哉准教授	(M),(K)
鏑木時彦准教授	(N)

これら学外講師 14 名と学内教員 11 名、合計 25 名の教育陣容が 17 科目の講義授業を担当した。

また、演習科目である HMPI,II の推進は芦川准教授の責任担当のもとに、山田学術研究員が指導担当者として加わり、実施委員会メンバー、推進メンバーが一体となって指導を補佐した。

4．運営実績

地域再生人材創出拠点の形成プログラムの一つとして「ホールマネジメントエンジニア育成ユニット」が採択されたのは平成 19 年 5 月で、委託事業の開始は 7 月のことである。実際の教育を開始するには準備期間が必要であり、本ユニットとしては授業開始を平成 20 年 4 月とした。ほぼ半年間の準備期間を設けた。その間に履修生の募集、本ユニットの広報、推進メンバー雇用、教材準備、施設整備、設備導入などに努めた。

4.1 履修・修了実績

履修者としては大学院学生と社会人を対象とした。大学院芸術工学府入学者の内、本育成ユニットの履修を希望する学生に対して、小論文および面接による選考試験を実施し、本育成ユニット履修者として選考した。また、社会人は科目等履修生として受け入れることとした。応募者に対して、その受講資格等を厳正審査して選考した。なお、ここでいう「科目等履修生」とは大学院に入学せず、授業個々を履修し単位を取得する者のことを意味する。平成 20 年度から平成 23 年度まで受け入れを行った。それらの数は次表の通りである。

受入年度	大学院学生	科目等履修生		
		前学期	後学期	合計
平成20年度	4	15	28	33
平成21年度	5	17	14	31
平成22年度	5	28(29)	14(15)	42(44)
平成23年度	4	25(27)	7(8)	32(35)
合計	18	85(88)	63(65)	148(153)

履修生の受け入れ状況
注：（ ）内は応募者数である。

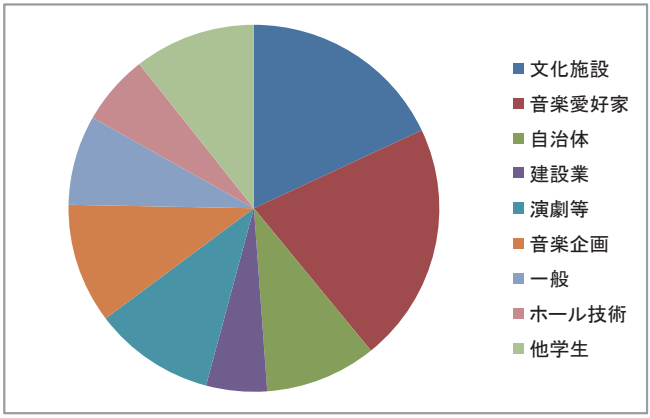
上表に示すようにこの 4 年間で大学院学生 18 名、科目等履修生 148 名、合計 166 名が HME 育成ユニットを履修した。その中で「修了」の認定を受けた人数は下表の通りである（平成 24 年 3 月末）。大学院生としては 12 名が修了しており、科目等履修生では 9 名である。すなわち本事業では全体で 21 名が修了認定を受けた。

修了年度	大学院生	科目等履修生	合計
平成21年度	3	0	3
平成22年度	5	4	9
平成23年度	4	5	9
合計	12	9	21

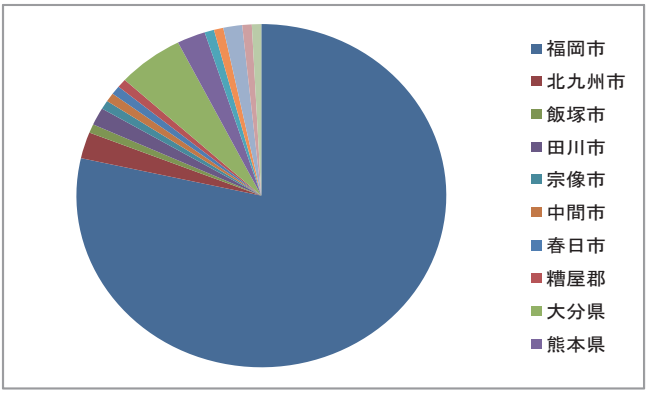
これらの修了生のうち科目等履修生は社会人であり、すでに職業を持っている。大学院学生では 12 名が修了しているが、内 7 名は残念ながら通常の就職をしている。残りの 5 名は 1 名が大学院博士課程へ進学し、文化芸術振興に関する研究活動をしている。他は（財）直島福武美術館財団、（株）NHK アート、（財）横浜市芸術文化振興財団、（財）佐世保地域文化事業財団という文化芸術振興系の組織に職を得ている。

このように大学院学生以外に多くの科目等履修生が応募し、受け入れられた。それらの職種、所属地の割合を示せば下図のようになる。職種で言えば文化施設に所属するもの、音楽愛好家などが多い。音楽企画、演劇等で働くものがそれに続く。所属地分布で言えば圧倒的に福岡市内が多い。続いて大分市、北九州市である。大分市が多いのは科目等履修生の計数が延べ人数であり、また一人の履修生が非常に熱心に受講しHME 育成ユニット修了認定を受けているからである。また、遠方としては東京都、大阪府、福井県などもある。

科目等履修生の職種分布



科目等履修生の所属地分布



4.2　連携公演事業等実績

HME 育成ユニット履修の必修科目として「ホールマネジメントプロジェクトⅠ、Ⅱ」があることはすでに述べた。この授業を受けることは地域の文化施設と連携して、その施設で開催される公演事業を企画・実施することである。これまでに 7 施設・組織の協力を得て実施してきた事業は下記に示すように 11 件である。

＜平成 21 年度連携事業＞

◆公演名：大野城まどかぴあ・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　創作劇「食卓につながる劇場」

◆公演名：福岡市制 120 周年記念事業／南区役所・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　創作劇 ファンタジー「桧原さくら物語」

◆公演名：そぴあしんぐう･九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「佐山雅弘が贈るピアノのチカラ」

＜平成 22 年度連携事業＞

◆公演名：伊都文化会館・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　糸島市誕生記念式典
　　「異都ジャズフェスティバル〜都を異にする楽器と神楽の競演〜」

◆公演名：そぴあしんぐう・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「法火守千年抄（ほうかのもりせんねんしょう）〜春秋組曲〜」

◆公演名：南区役所・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　新作能「桧原桜」

◆公演名：宗像ユリックス・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「花から花へ〜宮本益光があなたに贈る歌の花束〜」

＜平成 23 年度連携事業＞

◆公演名：宗像ユリックス・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「むなかたの音〜響きあう日韓のこころ〜」

◆公演名：あいれふホール・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「あいれふ・命のうたコンサート〜元気を生み出す音楽の力〜」

◆公演名：響ホール・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　鐵のまちブラスフェスタ「侍 BRASS in 響」

◆公演名：南区役所・九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　南区人形浄瑠璃「艶競里恋唄（つやくらべさとのこいうた）〜筑前琵琶と三味線の響演〜」

これらの公演事業では、国・県等への補助金申請やチラシ・ポスター制作を基本とする広報からチケット販売にも履修生が関わり、履修生としては公演事業実施の全容を学ぶ機会を得たことになる。次ページよりそれらの詳細を示す。

■連携公演企画１

連携先：大野城まどかぴあ
公演名：大野城まどかぴあ・
　　九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「食卓につながる劇場」
日時：2009 年 7 月 19 日 (日)　14：00
場所：大野城まどかぴあ 大ホール（783 席）
内容：近年、関心の高まっている “食育” をテーマに、家族関係を見つめ直しながら、家族みんなで楽しめるような演劇作品を提供する。さらに、地域の商店街と提携することで文化事業の開催を地域経済の活性化につなげ、市民との交流の場を作る。商店街でのスタンプラリー・抽選会およびエコバッグデザインコンテストの実施、食生活改善推進会による料理の提供、JA 筑紫ゆめ畑大野城店より野菜の出店販売、当日配布のパンフレットにレシピを掲載するなどの関連イベントも同時開催。

出演：大野城市民劇団　迷子座
演目：創作劇『八分で十分 (はちぶでじゅうぶん)』
入場料：大人 900 円、子ども 500 円、
　　大人ペア 1,500 円、親子ペア 1,200 円
主催：(財) 大野城市都市施設管理公社
後援：大野城市、大野城市教育委員会
協力：大野城市商店会連合会、大野城市商工会、
　　大野城市食生活改善推進会、ＪＡ筑紫、
　　ＦＢＳ福岡放送
協賛：西鉄旅行株式会社、株式会社南福岡自動車学校、
　　株式会社千鳥饅頭総本舗、　株式会社悠香
企画 : 大野城まどかぴあ、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：620 名

■連携公演企画２

連携先：福岡市南区役所
公演名：福岡市制 120 周年記念事業
　　南区役所・
　　九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　創作劇 ファンタジー「桧原さくら物語」
日時：2009 年 10 月 25 日 (日)　13：30
場所：福岡市立南市民センター 文化ホール (800 席)
内容：道路拡張で伐採されそうになった桜の木が、住民と行政のキャッチボールにより守られた「桧原桜」の心温まるエピソードを持つことで知られる福岡市南区。この心温まる財産を風化させず広く世代を越えて語り継いでいくため、独自の創作劇を作り上げ、南区の文化・芸術の振興に寄与する公演をおこなう。行政、大学、地域住民が一体となるような仕組みを作り、南区の魅力・文化を掘り起こし、かつ南区の魅力を再発見する機会を広く市民に提供する。

出演：福岡で活躍する俳優および公募で選ばれた
　　南区在住の小中高生および大人
演目：ファンタジー『桧原さくら物語』
作・演出：鈴木新平 (九州小劇場代表)
入場料：一般 800 円　小中学生 500 円
主催：ファンタジー「桧原さくら物語」上演実行委員会
企画：南区役所、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：780 名（ゲネプロ：218 名）

■連携公演企画３

連携先：そびあしんぐう
公演名：そびあしんぐう・
　　九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
　　「佐山雅弘が贈るピアノのチカラ」
日時：2009 年 12 月 6 日 (日)　14：00
場所：そびあしんぐう 大ホール（595 席）
内容：ピアノ生誕 300 年記念でピアノが改めて注目されている 2009 年。長い歴史の中で私たちを魅了し続けるピアノの魅力にトップジャズピアニスト佐山雅弘が迫るコンサート。ピアノの持つ幅広く自由な可能性を最大限に演出するため、多才な表現力とステージングに定評のあるジャズピアニスト佐山雅弘氏が登場する。ジャズスタンダードや佐山のオリジナル曲をそびあしんぐう自慢のスタインウェイピアノで披露し、また九州大学芸術工学部自慢のメディアアートとのコラボレーションにより、ＣＤやテレビでは味わえない特別な空間を創り出す。

出演：佐山雅弘 (ジャズピアノ)
メディアアート：藤岡定
映像制作：野中友貴
入場料：一般 3,000 円　学生 1,500 円
主催：(財) 新宮町文化振興財団 (そびあしんぐう)
企画：そびあしんぐう、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：227 名

■連携公演企画４

連携先：伊都文化会館
公演名：伊都文化会館・
　　九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業、
　　糸島市誕生記念式典
　　「異都ジャズフェスティバル
　　～都を異にする楽器と神楽の競演～」
日時：2010 年 8 月 8 日（日）14:00
場所：伊都文化会館 大ホール（926 席）
内容：2010 年 1 月 1 日旧前原市、旧二丈町、旧志摩町が合併し“糸島市”が誕生した。新市の誕生を契機に、糸島地域を中心として伝統や文化の継承・発展を促す新しいうねりを生み出し、その喜びを多様な音楽で盛り上げるため、「異都ジャズフェスティバル」を開催。〈ジャズ〉をベースに、糸島市内に伝承されてきた２つの〈神楽〉と、歴史的にも関係が深い中国や韓国の〈都を異にする楽器〉の競演。

出演：岩崎大輔（音楽監督・Pf）、原田迅明（Dr）
　　小牧良平（B）、高祖神楽、　福井神楽
　　パク・ラオン（F.Vo）、李敬美（チャング）
　　劉福君（二胡）
　　弦楽四重奏団：工藤真菜（Vn）、藤松敦仁（Vn）
　　森下香蘭（Va）、田元真木（Vc）
　　ゲスト / 山口真文（Sax）
入場料：入場は無料、事前申込みが必要
主催：糸島市、
　　「異都ジャズフェスティバル」公演実行委員会
企画：伊都文化会館、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：722 名

■連携公演企画 5

連携先：そぴあしんぐう
公演名：そぴあしんぐう・
九州大学ＨＭＥ育成ユニット連携事業
「法火守千年抄（ほうかのもりせんねんしょう）
〜春秋組曲〜」
日時：2010 年 10 月 31 日（日）14:00
場所：そぴあしんぐう 大ホール（595 席）
内容：新宮町の文化資源であり、国の重要文化財である「千年家」をモチーフとした舞台作品の公演。伝教大師より授かった火と水と仏像を守り続けた一族の千年、その千年の中で閃く家族の時間を描いた物語。異なる年の４つの季節を舞台に、それぞれの時代での一族の姿から、壮大な時間の流れを演出。

脚本・演出：阿久根知昭
音楽：菅野由弘
出演：村上差斗志、雪丸朋美、美和哲三、宮地悦子
演奏：水琴楽舎室内合奏団
入場料：一般 2,000 円　学生 1,000 円
主催：舞台作品「法火守千年抄」上演実行委員会
企画：（財）新宮町文化振興財団、
九州大学大学院
ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：251 名

■連携公演企画６

連携先：福岡市南区役所
公演名：南区役所・
　　九州大学 HME 育成ユニット連携事業
　　新作能「桧原桜」
日時：2010 年 12 月 4 日（土）18:00
場所：福岡市立南市民センター文化ホール（800 席）
内容：桧原桜のエピソードの中心は、「短歌」、そして古来より日本を象徴する花である「桜」と「桜を愛する心」である。これらを日本の伝統芸能の中でも最も洗練された美しい「能の世界」で表現。９月からは公募で集まった小学生 14 名が子方として出演するため、毎週稽古を行い、その子方が着る装束を「博多織」で仕立てるという能楽界初の試みに挑戦した。福岡で全てーから創り、世界へ発信する新作能。

出演：福岡市能楽協議会、福岡の小学生（公募）
入場料：一般 1,300 円　高校生以下 600 円
主催：新作能「桧原桜」上演実行委員会
後援：福岡市教育委員会、
　　（財）福岡市文化芸術振興財団
協力：博多織工業組合、香蘭女子短期大学
制作：福岡市能楽協議会
企画：南区役所、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：822 名

■連携公演企画 7

連携先：宗像ユリックス
公演名：宗像ユリックス・
　　九州大学 HME 育成ユニット連携事業
　　「花から花へ」～宮本益光が
　　あなたに贈る歌の花束～
日時：：2010 年 12 月 5 日 (日)　14:00
場所：宗像ユリックス　ハーモニーホール（622 席）
内容：21 世紀のホープ、バリトン歌手　宮本益光が遂に宗像ユリックスに初登場！演奏、作詞、作曲、執筆と多彩な活動を展開する宮本が、日本の歌曲からモーツァルトのアリアまで、あなたに極上の「歌の花束」を贈る。共演は今をときめくソプラノの鵜木絵里、宮本が全幅の信頼を寄せるピアノ・作曲の加藤昌則。

出演：宮本益光（バリトン）、
　　鵜木絵里（ソプラノ）、
　　加藤昌則（ピアノ・作曲）
入場料：全席指定：一般 2,500 円　学生 1,500 円
主催：「花から花へ」公演実行委員会、
　　福岡県、(財) 自治総合センター
後援：宗像市、宗像市教育委員会
企画：宗像ユリックス、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：205 名

■連携公演企画 8

出演：吉岡龍見（尺八・プロデュース）、
　　沢 知恵（うた・ピアノ）、
　　イ・セファン（コムンゴ）、
　　チョウ・スオク（韓国舞踊）、
　　藤間一和華（舞踊）、
　　富元清英（地歌三絃・箏）　他
入場料：一般 2,500 円　学生 1,500 円
主催：「むなかたの音～響きあう　日韓のこころ」
　　実行委員会
企画：宗像ユリックス、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：336 名

■連携公演企画 9

連携先：あいれふホール
公演名：あいれふホール・
九州大学 HME 育成ユニット連携事業
「あいれふ・命のうたコンサート
～元気を生み出す音楽の力～」
日時：2011 年 10 月 8 日（土）14:30
場所：あいれふホール（262 席）
内容：福岡を中心にタンゴからジャズ、ポップス、日本音楽まで幅広いレパートリーで独自の音楽活動を続けている谷本仰が、子どもから大人まで世代を超えて、元気を生み出すステージ。客席と共に響きの空間を創り出す、これまでにない参加型コンサート。

出演：谷本仰（歌・ヴァイオリン、鳴り物）、
中島由紀子（ピアノ）
原田敏夫（ギター）、
フクヤマワタル（コントラバス）
入場料：大人 1000 円、高校生以下 500 円
主催：あいれふ・命のうたコンサート実行委員会
企画：（財）福岡市健康づくり財団、
九州大学大学院
ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：208 名

■連携公演企画 10

連携先：響ホール
公演名：響ホール・
　　九州大学 HME 育成ユニット連携事業
　　鐵のまちブラスフェスタ「侍 BRASS in 響」
日時：2011 年 12 月 4 日（日）14:00
場所：北九州市立響ホール（720 席）
内容：国内オーケストラの首席奏者とスタジオ界のトッププレイヤーがタッグを組んだスーパー金管アンサンブル「侍 BRASS」が九州初公演。本公演にて初演となる新作や地元ブラスとの共演など、響ホールでしか聴けないラインナップをお届け。鐵（てつ）のまち八幡に響く、熱く豊かな演奏。

出演：〈侍 BRASS 〉
　　中川英二郎（Tb）、
　　エリック・ミヤシロ（Tr）、辻本憲一（Tr）、
　　三澤 慶（Tr）、久良木 文（Tr）、
　　野々下興一（Tb）、森 博文（Hr）、齋藤 充（Eu）、
　　古本大志（Tub）、齋藤たかし（Perc）、
　　関野直樹（Pf）、
　　北九州市立高等学校吹奏楽部
入場料：指定席 :3,500 円、自由席一般 :3,000 円、
　　自由席学生 :1,500 円
主催：鐵のまちブラスフェスタ「侍 BRASS in 響」
　　実行委員会
企画：(財) 北九州市芸術文化振興財団
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：588 名

■連携公演企画 11

連携先：福岡市南区役所
公演名：南区役所・
　　九州大学 HME 育成ユニット連携事業
　　南区人形浄瑠璃「艶競里恋唄
　　（つやくらべさとのこいうた）
　　～筑前琵琶と三味線の響演～」
日時：2011 年 12 月 11 日（日） 15:30
場所：福岡市南市民センター　文化ホール（800 席）
内容：南区にゆかりの深い筑前琵琶を取り入れ、長唄三味線とともに「耳で楽しむ」ことに焦点をあてた創作人形浄瑠璃「艶競里恋唄（つやくらべさとのこいうた）」を、南区役所と九州大学 HME 育成ユニットの連携事業として企画。人形浄瑠璃は「聴きに行く」と表現されることから、第一部ではその浄瑠璃の魅力を実演と解説で紹介、そして第二部の人形浄瑠璃ではその筑前琵琶と長唄三味線による浄瑠璃と一般公募の市民が人形遣いに挑戦。福岡の地名や言葉遊び、七五調の語りで身近なところから楽しめる全国初となる筑前琵琶と三味線による南区人形浄瑠璃。

脚本・演出：岩井眞實
出演：杵屋五司郎（作曲 / 三味線・太夫）
　　尾方蝶嘉（作曲 / 筑前琵琶・太夫）
　　今津人形芝居保存会
　　公募による市民（人形遣い）
監修・人形指導・振付：吉田勘緑
入場料：一般 1,000 円、高校生以下 500 円
主　催：「南区人形浄瑠璃」上演実行委員会
企画：福岡市南区役所、
　　九州大学大学院
　　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
参加者数：659 名

また、本ユニット独自で開催した公演事業も３件ある。それらを以下に示す。

◆　ＨＭＥ特別公演　　（平成 20 年 12 月 17 日）
ホールマネジメントプロジェクト企画
「Symphonic Piano」炎の第九
出演：関野直樹 (ピアノ：千葉県)
ケマル・ゲキチ (ピアノ：米国)
会場：多次元デザイン実験棟ホール
参加者数：270 名

◆ＨＭＥ学外特別公演　　（平成 23 年 9 月 27 日）
九州大学 HME 育成ユニット主催事業
音楽工房 freq・中村研究室企画
「檜垣智也　アクースモニウム・リサイタル」
会場：アクロス福岡円形ホール
参加者数：108 名

◆ＨＭＥ学外特別公演　　（平成 24 年 2 月 29 日）
九州大学 HME 育成ユニット主催事業
「まいだし茶々茶」
会場：九州大学医学部百年講堂
参加者数：194 名

以上に示した公演事業での集客数は、施設の収容人数や事業の規模にも大小があるので一様ではなく、その事業ごとに多寡はあるが、全体として 6000 名に近い参加者を得た。

4.3　シンポジウム等開催実績

本ユニットの存在を広く周知するため、また課題としている劇場･ホールの活性化に関して広く意見を求めるためにシンポジウムやセミナーを開催した。最初はキックオフシンポジウムと題して文化庁からも講師派遣を願って実施した。また同時に本ユニットの教育内容を紹介するセミナーも実施した。その後２回にわたってシンポジウムを開催した。それに加えて､本ユニットカリキュラムのみでは不足する部分を補うために「特別講義」と題して 12 のテーマに関する講義をオムニバス形式で２年にわたって開催した。それとは別に音響再生に関する最新情報を得るための特別講演や文化芸術振興人材育成に関する動向を知るための講演会も開催した。これらは全て履修生以外の一般にも開放して実施した。それらの開催内容を以下に示す。

- ◆ HME 育成ユニットキックオフシンポジウム　（平成 19 年 12 月 5 日）
  （地方再生事業経験者、劇場運営専門家などを招聘したシンポジウム）
- ◆ HME 育成ユニットキックオフセミナー　（平成 19 年 12 月 6 日、7 日）
  （人材養成従事予定者による公開模擬授業）
- ◆ ＨＭＥシンポジウム～地域における劇場・ホールの使命と課題　（平成 21 年 2 月 2 日）
  （地域文化施設のあり方と意義を問うシンポジウム）
- ◆ ＨＭＥシンポジウム～ 22 世紀の劇場・ホールをデザインする　（平成 22 年 2 月 2 日）
  （これからの文化施設の在り方をマネジメントとエンジニアリングの立場から相互に討議）

- ◆ ＨＭＥ特別講義　（平成 20 年 9 月～12 月）
  （関連分野の外部専門家を招聘した全 6 回にわたるオムニバス講義）
- ◆ ＨＭＥ特別講義　（平成 21 年 9 月～12 月）
  （関連分野の外部専門家を招聘した全 6 回にわたるオムニバス講義）

- ◆ ＨＭＥ特別講演　（平成 20 年 12 月 18 日）
  「立体音響再生の理論と技術・システムの製品化について」
- ◆ ＨＭＥ記念講演　（平成 24 年 12 月 12 日）
  講演 A：「アートファクトリーにおけるマネジメント
  ～閉鎖された産業施設を転用した文化空間の新展望～」
  講演 B：「日本における文化芸術振興人材育成動向」

◆HME 育成ユニットキックオフシンポジウム

（平成 19 年 12 月 5 日）

内容：地方再生事業経験者、劇場運営専門家などを
　　招聘したシンポジウム
基調講演：三ツ谷洋子（日本プロサッカーリーグ
　　理事／スポーツ２１社長）
　「J リーグに見る施設活用と地域戦略」
シンポジウム説明・司会：徳丸吉彦
　　（放送大学本部客員教授）
パネリスト：尾山眞之助（文化庁文化部長都）
　　今村晃（九州交響楽団事務局長）
　　三田村晴夫（新国立劇場制作部長）
　　川原裕二（ユメニティのおがた館長）
会場：NTT 夢天神ホール（福岡市）
参加者数：106 名

◆HME 育成ユニットキックオフセミナー

（平成 19 年 12 月 6 日、7 日）

内容：人材養成従事予定者による公開模擬授業
　　芸術文化論／利光功
　　東洋における舞台芸術／簑田司郎、
　　中村滋延、
　　矢向正人
　　演劇と文化／佐々木健一
　　電子音響芸術表現／檜垣智也
　　芸術文化と政策／徳丸吉彦
　　ホールと工学技術／與謝野久
　　空間の響き／日高孝之
　　拡声と収音／木村博行
　　舞台と照明／加藤憲治
　　舞台と機構／森健輔
　　ホールマネジメントプロジェクト／芦川紀子
会場：九州大学大橋キャンパス
参加者数：2 日間で合計 147 名

◆　ＨＭＥシンポジウム～地域における
劇場・ホールの使命と課題
（平成 21 年 2 月 2 日）

基調講演：中川幾郎（帝塚山大学教授）
「劇場・ホールの戦略とマネジメントについて」
パネリスト：小牧達彦（アクロス福岡プロデューサー）
古賀弥生（アートサポートふくおか代表）
大石時雄（いわき芸術文化交流会館
アリオス支配人）
会場：アクロス福岡：円形ホール
参加者数：123 名

◆　ＨＭＥシンポジウム～ 22 世紀の
劇場・ホールをデザインする
（平成 22 年 2 月 2 日）

基調講演：濱崎公男
（NHK 放送技術研究所主任研究員）
「芸術の創造と鑑賞における技術の役割」

マネジメント・セッション
「技術の進化が創造空間を変える」
コーディネーター：中川幾郎（帝塚山大学教授）
パネリスト：伊藤京子（別府アルゲリッチ音楽祭
総合プロデューサー）
岸正人 (神奈川芸術劇場開設準備室)
小池博史（パパ・タラフマラ主宰）

エンジニアリング・セッション
「技術の進化が鑑賞空間を変える」
コーディネーター：濱崎公男 (前掲)
パネリスト：池田雅弘 (ヤマハサウンド
テクノロジー開発センター）
勝本道哲 (独立行政法人
情報通信研究機構）
山根啓史 (ＮＴＴ西日本サービス
クリエーション部)
会場 : アクロス福岡 4F 国際会議場
参加者数：　103 名

◆　ＨＭＥ特別講義

（平成 20 年 9 月～12 月）

（関連分野の外部専門家を招聘した全 6 回にわたるオムニバス講義）

第 1 回 (9/25)：舞台技術の仕事／
講師：伊藤久幸 (新国立劇場)
参加者数：70 名

第 2 回 (10/9)：劇場・ホールの防災管理／
講師：草加叔也 (空間創造研究所)
参加者数：75 名

第 3 回 (10/23)：福岡の文化施策／
講師：浜崎真人 (福岡市文化芸術振興財団)
参加者数：80 名

第 4 回 (11/6)：フロントスタッフの仕事／
講師：山本 学 (博多座)
参加者数：90 名

第 5 回 (11/27)：招へい買取公演など興行の仕組み／
講師：堀 英明 (（株）ピクニック)
参加者数：80 名

第 6 回 (12/11)：バックステージ (裏方) の仕事／
講師：横井政行（福岡市民ホールサービス）
参加者数：63 名

会場：九州大学大橋キャンパス：5 号館 525 教室
参加者数：6 日間で合計 458 名

◆　ＨＭＥ特別講義

（平成 21 年 9 月～12 月）

（関連分野の外部専門家を招聘した
全 6 回にわたるオムニバス講義）

第 1 回 (9/29)：実演芸術と著作権・契約／
講師：福井健策（弁護士）
参加者数：108 名

第 2 回 (10/13)：舞台美術の仕事／
講師：堀尾幸男（舞台美術家）
参加者数：104 名

第 3 回 (10/27)：ステージマネージャーの仕事／
講師：猪狩光弘（サントリーホール）
参加者数：102 名

第 4 回 (11/10)：地域の公立文化会館の仕事／
講師：黒田洋一（サザンクス筑後）
参加者数：77 名

第 5 回 (11/24)：劇場で培われる対話力／
講師：平田オリザ（劇作家・演出家）
参加者数：128 名

第 6 回 (12/8)：公共劇場の使命と運営の仕事／
講師：高萩　宏（東京芸術劇場）
参加者数：88 名

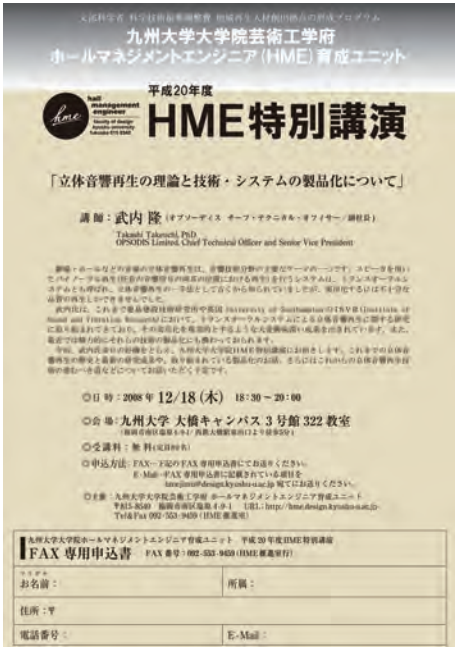
会場：九州大学大橋キャンパス：5 号館 511 教室
参加者数：6 日間で合計 607 名

◆ＨＭＥ特別講演（九州大学大橋キャンパス）

（平成 20 年 12 月 18 日）

「立体音響再生の理論と技術
～システムの製品化について」
武内　隆（OPSODIS）

参加者数：53 名



九州大学大学院芸術工学府
ホールマネジメントエンジニア（HME）育成ユニット

平成20年度

HME特別講演

「立体音響再生の理論と技術・システムの製品化について」

講師：武内 隆（オプソーディス オーブ・テクニカル・オフィサー／副社長）
Takashi Takeuchi, PhD
OPSODIS Limited, Chief Technical Officer and Senior Vice President

○日 時：2008 年 12/18（木） 18：30 ～ 20：00

○会 場：九州大学 大橋キャンパス 3 号館 322 教室

○受講料：無 料

○申込方法：FAX・下記の FAX 専用申込書にてお送りください。
E-Mail・FAX 専用申込書に記載されている通りを

○主催：九州大学大学院芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア育成ユニット

FAX 専用申込書

お名前：	所属：
住所：〒	
電話番号：	E-Mail：

科学技術戦略推進費

九州大学大学院 芸術工学府
ホールマネジメントエンジニア（HME）育成ユニット総括会議

記念講演会

日時：平成 23 年 12 月 12 日（月） 14：20 ～ 16：40（14：00 受付）
会場：九州大学大橋キャンパス 多次元デザイン実験棟ホール

開会挨拶

講演 A：講師 朴 信義（慶熙大学教授）
「アートファクトリーにおけるマネジメント
～閉鎖された産業施設を転用した文化空間の新展望～」
Prof. Shin-Eui Park (Kyung Hee Univ.)
"Management in Art Factory - new vision of Cultural Spaces Converted from Abandoned Industrial Facilities"

講演 B：講師 根木 昭（昭和音楽大学教授）
「日本における文化芸術振興人材育成動向」

閉会挨拶

参加費：無料
主催：九州大学大学院芸術工学府
ホールマネジメントエンジニア育成ユニット

お問い合せ
九州大学大学院 芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア育成ユニット

◆HME 記念講演会（九州大学大橋キャンパス）

（平成 23 年 12 月 12 日）

講演 A：朴　信義（慶熙大学教授）
「アートファクトリーにおけるマネジメント
～閉鎖された産業施設を転用した文化空間の新展望～」

講演 B：講師　根木　昭 (昭和音楽大学教授)
「日本における文化芸術振興人材育成動向」

参加者数：82 名

4.4　情報発信実績

本育成ユニットの履修生募集、シンポジウムや特別講義などの開催案内として全国各方面へ10000 通を超える情報発信を行った。これに加えて HME 育成ユニット Web サイト（http://hme.design.kyushu-u.ac.jp/）において本ユニットの全容を紹介できるようにした。

また、これらの情報発信に呼応して新聞等にも掲載された。実施機関 5 年間で新聞等での掲載は 60 回にも及ぶ。それらの内、本育成ユニット自体に関するものと連携事業に関するものを分け、幾つかを以下に紹介する。

日本経済新聞（夕刊）
2008年（平成20年）2月16日（土曜日）

劇場の〝プロ〟育てます

九州大学大学院芸術工学研究院（福岡市）は四月から、「劇場の管理・運営のプロ」を育てるプログラムを始める。巨費をかけた文化施設が地域に根付かず、ただの「ハコモノ」と化す例は全国に多数…

それを有効活用する人材の育成に着眼で、イベント企画力から設備の知識、行政との折衝能力まで併せ持つ一年までにない総合型人材を育成する試みだ。

HME

「万能型」の劇場支配人を育てる

「ハコモノ」有効活用担う

企画力
設備知識
行政と折衝

九大芸術工学院
4月から

九大が開設するのは「イベント企画に優れるホールマネジメントエンジニア（HME）育成ユニット」。HMEとは「芸術的感性を持ち、照明、舞台機構など工学的知識も兼ね備え、効果的なイベントの企画実践能力を有する劇場運営の管理者」。ホールと芸術家、観客をつなぐ役割を担う。但し九州芸工大学長は「HMEだけでなく、学生には文化に携わる社会人（学芸員相当）の資格も取得させる」と話している。

◆<本ユニットが記事として取り上げられた
主な掲載紙・掲載日・見出し >

朝日新聞 (2007 年 6 月 3 日) プロの劇場支配人育てます
日本経済新聞 (2008 年 2 月 16 日) 劇場の “プロ” 育てます
朝日新聞 (2008 年 3 月 21 日) 文化の拠点どう築く ホール考
東京新聞 (2008 年 3 月 26 日) 劇場支配人養成へ
PROSOUND（2008 年 4 月）九州大学の「ホールマネジメントエンジニア育成ユニット」
読売新聞 (2008 年 5 月 14 日) 大学院で劇場支配人育成
東京新聞 (2008 年 5 月 17 日) 育てよう新時代の「劇場支配人」
毎日新聞 (2008 年 6 月 14 日) 九大に全国初の HME 養成コース
読売新聞 (2008 年 6 月 28 日) 育て公共ホールの担い人
西日本新聞 (2008 年 8 月 18 日) ホール運営の専門知識を伝授
朝日新聞 (2008 年 9 月 5 日) 劇場の運営方法第一線招き講義
朝日新聞 (2008 年 10 月 3 日)「劇場支配人」地域の切望
西日本新聞 (2008 年 12 月 5 日) 箱ものを活性化へ〜劇場支配人を養成
モーストリー・クラシック（2008 年 12 月 20 日）大学がホールマネジメント教育に乗り出す
西日本新聞（2009 年 1 月 22 日）「劇場・ホール」シンポ　来月 2 日アクロス福岡
読売新聞 (2009 年 2 月 7 日) 公共ホールあり方議論〜人材育成に課題
地域創造レター（2009 年 6 月 25 日）九州大学ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
〜地域のホールと連携事業スタート〜
西日本新聞（2009 年 8 月 27 日）ホールや劇場の専門家を養成〜 HME 特別講義、九大が来月開講
西日本新聞（2010 年 1 月 19 日）九州大学 HME シンポジウム
「22 世紀の劇場・ホールをデザインする」
日本経済新聞（2010 年 1 月 26 日）九州大学大学院ホールマネジメントエンジニア（HME）
育成ユニット　平成 21 年度 HME シンポジウム
日本経済新聞（2010 年 3 月 10 日）町の劇場生かすプロに　九代大学院専門課程一期生羽ばたく
毎日新聞（2010 年 10 月 9 日）九大とホールがタッグ〜院生企画で 3 公演〜
PROSOUND（2011 年 10 月）ホールマネジメントエンジニア〜九州大学芸術工学府プロジェクト〜

◆<本ユニットと地域文化施設の連携事業が記事として取り上げられた主な掲載紙・掲載日・見出し>

西日本新聞 (2009・3・5)「桧原桜」を創作劇に
～花守る人の優しさを語り継ぐ
西日本新聞（2009・4・10）「桧原桜」題材の創作劇
～６月に出演者選考から
読売新聞（2009・7・11）食育劇
～19日、大野城で市民劇団公演
西日本新聞（2009・7・14）楽しんで「食」考える
～まどかぴあと九大院生共同企画
西日本新聞（2009・8・10）春秋～「桧原桜」誕生を
題材にした創作劇が上演される～
毎日新聞（2009・9・15・）心の交流を創作劇に
～行政、学生ら企画～
西日本新聞（2009・11・18）ジャズピアニスト
佐山雅弘さん～大学生の映像と共演～
西日本新聞（2010・6・3）神楽や中国、韓国の楽器競演
～８月に「異都ジャズ祭」～
西日本新聞（2010・6・22）「桧原桜」逸話後世式に
～新作能の出演児童募集～
西日本新聞（2010・6・26）ジャズに児童拍手
～糸島市誕生のイベント啓発・岩崎さんら演奏
毎日新聞（2010・8・10）神楽とジャズ競演
～糸島市誕生記念式典楽しむ～
西日本新聞（2010・10・22）「花」テーマに共演
～九大院生企画「地域見直す機会に」～
西日本新聞（2010・11・23）新作能「桧原桜」を
企画した九大大学院生の庄司潤平さん（24）
日本経済新聞（2010・11・29）桜並木の美談、能に
～九大院生が発案、来月初上演～
西日本新聞（2010・11・30）「桧原桜」新作能に
～九大院生発案で実現～
西日本新聞（2010・12・5）新作能「桧原桜」を上演
～博多織装束の児童　桜の舞、堂々と披露～
読売新聞（2011・1・5）新作能　大学院生が挑戦
～九大、舞台を支える人材育成～
西日本新聞（2011・6・9）市民参加型の人形浄瑠璃

西日本新聞（2009年３月５日）

「桧原桜」を創作劇に

花守る人の優しさ語り継ぐ

10月に上演 福岡市、九大、住民が協力

桜の木の枝につるされた短歌がきっかけとなり、道路拡幅工事による伐採から救われた福岡市南区桧原の「桧原桜」を題材にする創作劇が十月下旬に上演される。福岡市と九州大学大学院芸術工学府（同区）が「心温まる『財産』を語り継ぎ、南区の魅力を再発見しよう」と計画。四月に実行委員会を発足させ、地域住民らに出演や脚本作りへの協力を呼び掛ける。

伐採を目前にした「花の心はと近歌を詠み、八四年三月、桜の命を惜しむ地元の土居義胤さんソードが知られている。「花あわれ　せめては　あと一回　ついの開き誇り、短歌会も開かれている。

原桜につるした。当時の故進藤一馬市長が「桜花惜しむ　大和心の　うるわしや　とわに匂わん　グラム「ボールマネジメ

創作劇は、文化施設を管理運営する人材を育てる芸術工学府の教育プロ

伐採を免れて毎春咲き誇る「桧原桜」手前の石碑に土居義胤さんと故進藤一馬市長の短歌が刻まれている＝昨年春、福岡市南区桧原（南区役所提供）

ントエンジニア育成ユニット」の学生が、実践演習として立案し、昨年六月に南区役所に提案。区は市制施行百二十周年を記念し、行政、大学、地域による共同事業で実施することを決めた。市は新作能予算案に同事業分として、百万円を計上した。

実行委発足後、地域住民や市民団体、劇団から幅広く参加を募り、脚本、演出を、から手掛ける。出演者はオーディションで決定し、十月下旬、定員八百人の南市民センター（同区）での上演を目指す。

南区役所は「桧原桜は、地域と行政のキャッチボールのシンボル。風化させず、語り継ぐきっかけになれば」。芸術工学府の同プログラムを担当する藤原恭司教授（建築音響学）も「地域文化の振興のため、ぜひ成功させたい」と話している。

学会発表など

【成果発表等】（7件）

・芦川、藤原

「ホールマネジメントエンジニア育成ユニットの意義について」

日本アートマネジメント学会第９回全国大会　於応典院・大阪　(2007/11)

・藤原、芦川、尾本、鏑木、河原、清須美、鮫島

「ホールマネジメントエンジニア育成ユニットについて」

日本音響学会春季研究発表会　2−2−5　(2008/3)

・藤原、芦川、尾本、鏑木、河原、清須美、鮫島

「ホールマネジメントエンジニア育成ユニットについて」

日本音響学会建築音響研究員会 AA2008-42（2008/6）

・芦川

「地域における企画・マネジメントに何が必要か」

九州公立文化施設協議会主催：アートマネジメント・セミナーにおける講演

於：宮崎県立芸術劇場 (2009/4)

・井手詩織・福田裕美・芦川紀子「地域の文化資源を活用した企画の意義と可能性〜糸島市誕生

記念式典『異都（いと）ジャズフェスティバル』を事例として〜」音楽芸術マネジメント』

第 3 号 ,2011 年 9 月 25 日 ,pp.165-176

・井手詩織・福田裕美・芦川紀子

「地域の文化資源を活用した企画の意義と可能性

―糸島市誕生記念式典『異都 (いと) ジャズフェスティバル』―を事例として」

日本音楽芸術マネジメント学会　第 3 回研究大会（2010 年 11 月 13 日／武蔵野音楽大学）

・芦川紀子

「九州大学ホールマネジメント育成ユニットの展開とその役割」

日本アートマネジメント学会第 13 回全国大会 (2011 年 11 月 20 日 / 静岡文化芸術大学）

5．後継教育プログラムについて

本プログラム実施期間終了後は、本学大学院の正規の独立した専攻として本育成ユニットの教育プログラムを実施することが望ましい。しかし、育成された人材の雇用環境がまだ熟しているとは考えられず、多くの人材を同時に輩出するには問題がある。

そこで、現在の学部・学科や研究科という組織に基づいた課程ではなく、プログラム制を導入することとした。そのプログラムに添うかたちで、既存の本学大学院における修士課程と各学部のカリキュラムを調整し、横断的な履修•単位取得を可能とする。それによって HME 育成ユニットの修了要件を満たせるようにし、HME の修了認定を行うこととした。平成 24 年 4 月より開設される授業科目は以下のとおりである。太文字は必修科目を示す。これらの授業科目から必修科目 18 単位を含め、修了に必要な 30 単位を取得することとなる。また、平成 23 年度で「履修証明プログラム」はなくなり、特例を除いて科目等履修生として「HME」育成プログラム修了認定はできなくなる。従って、平成 24 年度以降修了認定を受けようとするものは九州大学大学院への入学が必要となる。

	大学院開設科目	学部開設科目
ホール芸術科目群	**• 美学特論 III** • 演劇学特論 • 音楽・伝統芸能コンテンツ特論 • 音楽メディアアート特論	• 演劇文化論 • 文化比較論
ホールマネジメント科目群	**• 文化政策特論** • 芸術・文化環境論 • プロデューサー原論 **• 舞台芸術マネジメント特論**	• 西日本新聞特殊講義 I, II • 文化芸術施設論 • 知的財産論
ホール工学科目群	**• ホール工学技術特論** **• ホール工学技術演習** • まちづくりデザイン • 感性価値クリエーション特論	• 楽器音響学 • 室内音響学 • 環境情報論
プログラム共通科目群	**• ホールマネジメントエンジニアリング プロジェクト I, II, III, IV**	

なお、この後継教育プログラム推進運営のために平成 24 年 4 月から芸術工学府のコミュニケーションデザイン科学コースに「ホールマネジメントエンジニアリング講座」が設置される。今後、本講座の教員陣容が充実され、教育プログラムの発展を期待したい。

HME 育成ユニット教材等

本育成ユニットでは大学院修士課程レベルの授業科目を 19 科目開設し、「履修証明プログラム」として提供した。これらの内、講義科目である 17 科目についてはそれぞれ授業の様子を DVD として記録し、配布資料とともに教材化している。

演習科目である「ホールマネジメントプロジェクト」に関しては、地域文化施設との連携企画公演事業の本番を DVD として記録した。またそれらに関連して実施されたアウトリーチ事業に関しても映像として記録し、視聴できるようにしている。

また、正規の授業科目のみでは補いきれない部分に関しては特別講義・特別講演の形で開講した。それらについても DVD として記録し、加えて講義で話された内容は文字化し、冊子として配布資料とともに整理した。これらは DVD を視聴する際に活用できるようにしている。

本育成ユニット開設するに際して、学外に広報するために開催したキックオフシンポジウム、キックオフセミナー、また本育成ユニットの意義を問い、地域文化施設（劇場•音楽堂等）の活性化と将来像を議論するために開催した 2 回のシンポジウムに関しても DVD として記録し、その討議内容の文字化も行った。文字化資料は DVD 視聴の際に活用できるよう整理している。

以上、講義内容からシンポジウム内容までを教材化し、今後「ホールマネジメントエンジニア」になることを目指す学生たちに閲覧できるようにしている。それらをまとめると次表のようになる。

類別	科目名/担当講師		撮影年度	学期	DVD枚数	講義資料番号	DVD番号
ホール芸術科目群	芸術文化論	利光 功	H20	後	15	CHA/LM1	CHA/LV1
	西洋における舞台芸術	芦川　紀子	H22	前	15	CHA/LM2	CHA/LV2
	東洋における舞台芸術	中村　滋延 , 矢向　正人 , 簑田　司郎	H20	後	15	CHA/LM3	CHA/LV3
	演劇と文化芸術	佐々木健一 , 小坂　弘治	H21	前	15	CHA/LM4	CHA/LV4
	電子音響芸術表現	檜垣　智也	H20	後	14	CHA/LM5	CHA/LV5
ホールマネジメント科目群	アートマネジメント	芦川　紀子	H20	後	15	CHM/LM1	CHM/LV1
	芸術文化と政策	徳丸　吉彦	H20	前	15	CHM/LM2	CHM/LV2
	芸術文化と環境	藤原　惠洋	H20	前	10	CHM/LM3	CHM/LV3
	芸術文化と施設運営	清水　裕之	H20	後	15	CHM/LM4	CHM/LV4
	プロデュースとストラテジー	都甲　康至 , 清須美 匡洋	H21	前	15	CHM/LM5	CHM/LV5
ホール工学科目群	ホールと工学技術	藤原　恭司 , 與謝野　久	H21	前	15	CHE/LM1	CHE/LV1
	空間の響き	日高　孝之 , 尾本　章	H20	後	15	CHE/LM2	CHE/LV2
	音響の再生	鮫島　俊哉	H20	後	13	CHE/LM3	CHE/LV3
	発音機構と音放射	鏑木　時彦 , 西口　磯春 , 尾本　章	H21	後	15	CHE/LM4	CHE/LV4
	拡声と収音	市来 邦比古	H21	前	15	CHE/LM5	CHE/LV5
	舞台と機構	森　健輔	H20	後	12	CHE/LM6	CHE/LV6
	舞台と照明	加藤　憲治	H21	前	15	CHE/LM7	CHE/LV7
共通科目群	ホールマネジメントプロジェクトⅠ	SymphonicPiano～炎の第九～	H20	通年	1		
		まいだし茶々茶	H23	通年	1		
	ホールマネジメントプロジェクトⅡ	創作劇「八分で十分」	H21	通年	1		
		ファンタジー「桧原さくら物語」			1		
		ジャズピアニスト・佐山雅弘が贈るピアノのチカラ			1		
		糸島誕生記念式典 異都ジャズフェスティバル 都を異にする楽器と神楽の競演	H22		1		
		糸島市 小・中学校訪問公演			6		
		糸島市 福祉施設慰問公演			2		
		法火守千年抄 ～春秋組曲～			1		
		花から花へ 宮本益光があなたに贈る歌の花束			1		
		合唱団ワークショップ			1		
		介護老人保健施設よつづか慰問公演			1		
		新作能「桧原桜」			1		
		新作能「桧原桜」能楽講座 みんなで楽しむ能トレーニング<初級編>			1		

類別	科目名/担当講師		撮影年度	学期	DVD枚数	講義資料番号
共通科目群	ホールマネジメントプロジェクト	むなかたの音 〜響きあう 日韓のこころ〜	H23	通年	1	
		尺八の響きコンサート in 吉武			1	
		吉岡龍見 尺八演奏 in 宗像大島七夕祭り			1	
		あいれふ・命のうたコンサート 〜元気を生み出す音楽の力〜			1	
		ワークショップ「谷本仰と一緒に楽しむ音のおもちゃ箱」			1	
		鐵のまちブラスフェスタ「侍BRASSin響」			1	
		鐵のまちブラスフェスタ関連企画「金属製楽器制作ワークショップ　/トロンボーン公開クリニック/音響明瞭度実験」			1	
		南区人形浄瑠璃「艶競里恋唄」			2	
		筑前琵琶入門講座 ちょっとお耳を拝借!?筑前琵琶 de 耳なし芳一			1	
特別講義	舞台技術の仕事〜舞台芸術の世界	伊藤 久幸	H20	後	1	
	劇場・ホールの防災管理	草加 叔也			1	
	福岡の文化施策〜自治体担当者が語る	浜崎 真人			1	
	フロントスタッフの仕事	山本 学			1	
	招へい買取り公演など興行の仕組み	堀 英明			1	
	バックステージ（裏方）の仕事	横井 政行			1	
	実演芸術と著作権・契約	福井 健策	H21		2	
	舞台美術の仕事	堀尾 幸男			1	
	ステージ・マネージャーの仕事	猪狩 光弘			1	
	地域の公立文化会館の仕事	黒田 洋一			1	
	劇場で培われる対話力	平田オリザ			1	
	公共劇場の使命と運営の仕事	高萩 宏			1	
特別講演	立体音響再生の理論と技術・システムの製品化について	武内 隆	H20		1	
記念講演	講演A:アートファクトリーにおけるマネジメント 講演B:日本における文化芸術振興人材育成動向	朴　信義 根木　昭	H23		1	
シンポジウム	キックオフシンポジウム		H19		DV	
	キックオフセミナー		H19		DV	
	「地域における劇場・ホールの使命と課題」		H20		1	
	「22世紀の劇場・ホールをデザインする」		H21		1	

HME 育成ユニット書籍等

本育成ユニットはこれまでにない新しい人材の養成を目的としており、その教育には新しい図書が必要であった。そこで教育にあたる講師に書籍の選定を依頼し整備した。それに加えて実施委員会等でも必要書籍、必要映像資料の選定を行い購入した。これらの整理・管理・貸出は HME 育成ユニット推進室で行った。

次ページ以降にそれら図書・映像資料を表としてまとめて示す。

分類			冊数	書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
学会誌等	JO	Am1	1	アートマネジメント研究第１号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2000
学会誌等	JO	Am2	1	アートマネジメント研究第２号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2001
学会誌等	JO	Am3	1	アートマネジメント研究第３号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2002
学会誌等	JO	Am4	1	アートマネジメント研究第４号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2003
学会誌等	JO	Am5	1	アートマネジメント研究第５号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2004
学会誌等	JO	Am6	1	アートマネジメント研究第６号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2005
学会誌等	JO	Am7	1	アートマネジメント研究第７号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2006
学会誌等	JO	Am8	1	アートマネジメント研究第８号	日本アートマネジメント学会編集委員会	美術出版社	2007
学会誌等	JO	Bk1	1	文化経済学会＜日本＞論文集第1号	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk2	1	文化経済学会＜日本＞論文集第2号	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk3	1	文化経済学会＜日本＞論文集第3号	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk4	1	文化経済学1-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk5	1	文化経済学1-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk6	1	文化経済学1-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk7	1	文化経済学1-4	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk8	1	文化経済学2-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk9	1	文化経済学2-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk10	1	文化経済学2-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk11	1	文化経済学2-4	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk12	1	文化経済学3-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk13	1	文化経済学3-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk14	1	文化経済学3-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk15	1	文化経済学3-4	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk16	1	文化経済学4-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk17	1	文化経済学4-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk18	1	文化経済学4-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk19	1	文化経済学5-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk20	1	文化経済学5-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk21	1	文化経済学5-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk22	1	文化経済学6-1	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk23	1	文化経済学6-2	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk24	1	文化経済学6-3	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
学会誌等	JO	Bk25	1	文化経済学6-4	文化経済学会＜日本＞	文化経済学会＜日本＞	#####
アートマネ	AM	Bk1	1	舞台芸術と法律ハンドブック　公演実務Q＆A	文化法研究会	芸団協出版部	2002
アートマネ	AM	Iy1	1	アーツ・マネジメント概論(文化とまちづくり叢書)	伊藤裕夫、小林真理、他	水曜社	2004
アートマネ	AM	Ks1	1	コミュニティ・アートマネジメント―いかに地域文化を創造するか	小林 進	中央法規出版	1998
アートマネ	AM	Ks2	1	芸術と経営―アートマネジメント	小林 進	雄山社	2004
アートマネ	AM	Nk1	1	イベント創造の時代　自治体と市民によるアートマネジメント	野田邦弘	丸善株式会社株式会社	2001

分類			冊数	書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
アートマネ	AM	Oy1	1	文化政策とアートマネジメント (296books)	大木 裕子	ふくろう出版	2004
アートマネ	AM	Sh1	1	アーツ・マネジメント	清水裕之, 菊池誠編著	放送大学教育振興会	2006
アートマネ	AM	Ss1	1	今日からあなたもプロデューサー	境新一	レッスンの友社	2009
アートマネ	AM	Th1	1	なぜ、我々はマネジメントの道を歩むのか 人間の出会いが生み出す「最高の	田坂 広志	ＰＨＰ研究所	2007
アートマネ	AM	Wb1	1	Management and the ARTS	William J.Byrnes	Focal Press	2003
アートマネ	AM	Ww1	1	The Musician as Enterpreneur, 1700-1914	Weber,William	Indiana University Pres	2004
著作権	CO	Ak1	1	インターネット音楽著作権Q&A	安藤和宏	リットーミュージック	2003
著作権	CO	Nn1	1	著作権法	中山信弘	有斐閣	2007
著作権	CO	Ym1	1	音楽ビジネス 仕組みのすべて―Music Business Bible	湯浅政義	オリコンエンタテイメ	2004
著作権	CO	Fk1	1	著作権とは何か	福井健策	集英社	2005
著作権	CO	Fk2	1	ライブ・エンタテインメントの著作権	福井健策,二関辰郎	社団法人著作権情報セ	2006
辞典・事典	DI	Eb1	1	新編 音楽中辞典	海老沢敏、西岡信雄ほか	音楽之友社	2002
辞典・事典	DI	Es1	1	独・仏・伊・英による音楽用語辞典 【改訂版】	遠藤三郎	シンコーミュージック	1991
辞典・事典	DI	Gh1	1	現代用語の基礎知識2008	現代用語編集部	自由国民社	2007
辞典・事典	DI	Ik1	1	クラシック音楽作品名辞典	井上和男	三省堂	1996
辞典・事典	DI	Is1	1	露和・和露音楽用語小辞典―くらしき作陽大学ロシア音楽センター版	石田一志他	朔北社	2006
辞典・事典	DI	Ka1	1	新版バレエ用語辞典	川路明	東京堂出版	2003
辞典・事典	DI	Mm1	1	音楽用語のイタリア語	森田学	三修社	2007
辞典・事典	DI	Ot1	1	日本音楽基本用語辞典	音楽之友社	音楽之友社	2007
辞典・事典	DI	Ot2	1	新編　音楽小事典	金沢 正剛	音楽之友社	2004
辞典・事典	DI	Oz1	1	知ってるようで知らないクラシックおもしろ雑学事典	音楽雑学委員会	ヤマハ	2006
辞典・事典	DI	Rm1	1	ステージ・PA・照明用語辞典	小瀬 高夫、須藤 浩、江見 千尋、北 英樹、藤井 直	リットーミュージック	2006
辞典・事典	DI	So1	1	バックステージ用語事典(改訂版2006)	シミズオクト	バックステージカンパ	2006
辞典・事典	DI	Ss1	1	新グローヴ オペラ事典	スタンリーセイディ、中矢一義、土田英二郎	白水社	2006
辞典・事典	DI	St1	1	これで納得!よくわかる音楽用語のはなし―イタリアの日常会話から学ぶ	関孝弘	全音楽譜出版社	2006
辞典・事典	DI	Ty1	1	事典　世界音楽の本	徳丸吉彦	岩波書店	2007
辞典・事典	DI	Uh1	1	ポケット版裏方用語事典	裏方用語事典編集委員会	金羊社	1995
辞典・事典	DI	Wt1	1	世界の民族音楽辞典	若林忠弘	東京堂出版	2006
文化経済	EC	Fa1	1	非営利組織のマーケティング戦略	フィリップ・コトラー＆アラン・Ｒ・アンドリーセ	第一法規	2005
文化経済	EC	Ij1	1	文化経済学のすすめ	池上惇	丸善株式会社	1991
文化経済	EC	Ks1	1	文化経済論	金武創, 阪本崇	ミネルヴァ書房	2005
文化経済	EC	Wb1	1	舞台芸術　芸術と経済のジレンマ	ウィリアム・J・ボウエル＆ウィリアム・G・ボウエ	芸団協出版部	1994
電子音楽	EM	Cr1	1	コンピュータ音楽―歴史・テクノロジー・アート	Curtis Roads	東京電機大学出版局	2001
電子音楽	EM	Ft1	1	コンプリートDTMガイド・ブック	藤本 健	リットーミュージック	2005
電子音楽	EM	Kk1	1	日本の電子音楽	川崎弘二、大谷能生	愛育社	2006
電子音楽	EM	Ma1	1	裏口からのMIDI入門―理論不要の作曲道 (I・O BOOKS)	御池 鮎樹	工学社	2002
電子音楽	EM	My1	1	現代音楽のパサージュ　20.5世紀の音楽　増補版	松平頼暁	青土社	1995
電子音楽	EM	Nm1	1	音を大きくする本 - 音圧をあげるための基本からプロレベルまでそのテクニ	永野 光浩	スタイルノート	2006
電子音楽	EM	Ns1	1	現代音楽×メディアアート　音響と映像のシンセシス	中村滋延	九州大学出版会	2008
電子音楽	EM	Pg1	1	現代音楽　1945年意向の前衛	ポール・グリフィス著　石田一志・佐藤みどり共訳	音楽の友者	1987

分類		冊数		書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
電子音楽	EM	Rm1	1	エンジニア直伝!エフェクト・テクニック基礎講座 (リットーミュージック	石塚"BERA"伯広、稲葉 なるひ、内沼 映二、鎌田	リットーミュージック	2004
ホール	HA	Ek1	1	地域に生きる劇場	衛紀生、本杉省三	芸団協出版部	2000
ホール	HA	Hn1	1	音楽ホール・劇場・映画館	服部紀和執筆代表	市ケ谷出版社	2001
ホール	HA	Ht1	1	鉄のサムライ 音楽ホールをつくる―鉄鋼マンが挑んだ、音楽の殿堂・紀	林 隆男	青志社	2008
ホール	HA	Kh1-1	1	九州大学大学院芸術工学府ホールマネジメントエンジニア育成ユニット	九州大学大学院芸術工学府	―	2008
ホール	HA	Kh1-2	2	九州大学大学院芸術工学府ホールマネジメントエンジニア育成ユニット	九州大学大学院芸術工学府	―	2008
ホール	HA	Km2	1	小出郷文化会館物語	小林真理　小出郷の記録編集委員会	水曜社	2002
ホール	HA	Ks1	1	コンサートホール : 巨大な楽器づくり	建築思潮研究所	建築資料研究社	1994
ホール	HA	Ks2	1	地域の複合文化施設―市民の多様な文化活動への対応 (建築設計資料)	建築思潮研究所	建築資料研究社	1996
ホール	HA	Lb1-1	1	コンサートホールとオペラハウス : 音楽と空間の響きと建築	レオ・L.ベラネク, 日高孝之, 永田穂	シュプリンガー・フェ	2005
ホール	HA	Lb1-2	2	コンサートホールとオペラハウス : 音楽と空間の響きと建築	レオ・L.ベラネク, 日高孝之, 永田穂	シュプリンガー・フェ	2005
ホール	HA	Mk1	1	文化ホールがまちをつくる	森 啓	学陸書房	1991
ホール	HA	Ni1	1	文化ホールにおける職員の役割	中川幾郎	アートサポート福岡	2003
ホール	HA	Nk1	1	多目的ホールの設計資料	日本建築学会	彰国社	1993
ホール	HA	Nk2	1	音楽空間への誘い : コンサートホールの楽しみ	日本建築学会編	鹿島出版会	2002
ホール	HA	Nk3	1	音楽空間への誘い : ドラマチック・シアターの楽しみ	日本建築学会編	鹿島出版会	2010
ホール	HA	Nk3	1	参加による公共施設のデザイン	日本建築学会編	丸善株式会社	2004
ホール	HA	Sh1	1	劇場の構図	清水裕之	鹿島出版会	1985
ホール	HA	Su1	1	日本のクラシックホール	鈴木博之 [ほか]	白揚社	2007
ホール	HA	Yy1	1	ホールの計画と運営 : 伝統芸能劇場から新多目的ホールまで	山崎泰孝	鹿島出版会	1987
舞台照明	LI	Cd1	1	Technical Theater for Nontechnical People	Campbell Drew, Drew Campbell, Kis Knekt	Allworth Pr	2004
舞台照明	LI	Ft1	1	ステージ・舞台照明入門―舞台の基礎からDMX、ムービングまで	藤井 直	リットーミュージック	2006
舞台照明	LI	It1	1	舞台美術・照明・音響効果篇 (高校生のための実践演劇講座)	石井 強司、山本 能久、山口 暁、 つか こうへい	白水社	1997
舞台照明	LI	Ja1	1	劇場等演出空間電気設備指針	社団法人電気設備学会、社団法人劇場演出空間技	社団法人電気設備学会	―
舞台照明	LI	Ja2	1	照明演出用調光装置の共通データ規格	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間	―
舞台照明	LI	Ja3	1	演出空間用照明器具及び照明機材等の安全表示ガイドライン	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間	―
舞台照明	LI	Kk1	1	舞台技術入門シリーズ（3）ロックコンサートのためのステージライティ	加藤憲治	レクラム社	2003
舞台照明	LI	Kt1	1	テスタとディジタル・マルチメータの使い方―動作原理から正しい使い方	金沢敏保、藤原章雄	ＣＱ出版	2005
舞台照明	LI	Nk1	1	テスタ使いこなしテクニック―暮らしの電気をドクターチェック	丹羽一夫	誠文堂新光社	2005
舞台照明	LI	Ns1-1	1	新編　舞台・テレビジョン照明　基礎編　改訂版	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	2007
舞台照明	LI	Ns1-1.1	1	新編　舞台・テレビジョン照明　基礎編　改訂版 CD-ROM	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協会	
舞台照明	LI	Ns1-2	2	新編　舞台・テレビジョン照明　基礎編　改訂版	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	2007
舞台照明	LI	Ns1-2.1	2	新編　舞台・テレビジョン照明　基礎編　改訂版 CD-ROM	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協会	
舞台照明	LI	Ns2-1	1	新編　舞台・テレビジョン照明　知識編	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	1998
舞台照明	LI	Ns2-2	2	新編　舞台・テレビジョン照明　知識編	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	1998
舞台照明	LI	Ns3-1	1	新編　舞台・テレビジョン照明　技能編	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	1998
舞台照明	LI	Ns3-2	2	新編　舞台・テレビジョン照明　技能編	社団法人日本照明家協会	社団法人日本照明家協	1998
舞台照明	LI	On1	1	舞台技術入門シリーズ（1）光のデッサンから舞台照明の作り方まで	小川昇、小川昇舞台照明研究所	レクラム社	1996
舞台照明	LI	Ot1	1	大劇33年の夢舞台―照明マンが語る秘話の数々	岡本 友秋	探究社	1992
資料	MA	Dy1-1	1	花かげの物語	土居善胤	出窓社	2002
資料	MA	Dy1-2	2	花かげの物語	土居善胤	出窓社	2002

資料	MA	Dy1-3	3	花かげの物語	土居善胤	出窓社	2002
資料	MA	Je1	1	JACEイベント講座1　基礎編　イベントと社会　新たなイベントの世界を探る	社団法人日本イベント産業振興協会教材編集委員会	社団法人日本イベント	2004
資料	MA	Je2	1	JACEイベント講座2　基礎編　イベントの基礎知識　その形態・役割・仕組み	社団法人日本イベント産業振興協会教材編集委員会	社団法人日本イベント	2004
資料	MA	Je3	1	JACEイベント講座3　基礎編　イベントの構造　時代の変化がイベントを変え	社団法人日本イベント産業振興協会教材編集委員会	社団法人日本イベント	2004
資料	MA	Jf1	1	若いピアニストへの手紙　～技術をみがき作品を深く理解するために～	ジャン・ファシナ	音楽之友社	2004
資料	MA	Kb1	1	平成19年度版　全国公立文化施設名簿	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb2	1	平成19年度(社)全国公立文化施設協会会員・賛助会員名簿	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb3	1	平成20年度版　公演事業資料	社団法人芸能実演家団体競技会芸能文化振興部	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb4-1	1	舞台総合技術概論（全国公文協技術委員会編）	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb4-2	2	舞台総合技術概論（全国公文協技術委員会編）	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb4-3	3	舞台総合技術概論（全国公文協技術委員会編）	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb4-4	4	舞台総合技術概論（全国公文協技術委員会編）	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb4-5	5	舞台総合技術概論（全国公文協技術委員会編）	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb5	1	全国公文協加盟施設における事故例と技術的対策調査	社団法人全国公立文化施設協会技術委員会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb6	1	公立文化施設現況調査　第7回	社団法人全国公立文化施設協会業務管理委員会事務局	社団法人全国公立文化	2006
資料	MA	Kb7	1	平成19年度研究大会報告書	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2007
資料	MA	Kb8	1	公立文化会館の建設計画および改修について	社団法人全国公立文化施設協会	社団法人全国公立文化	2001
資料	MA	Kb9	1	ホール運営実態及び改修・保守点検等調査 CD-ROM	全国公文協技術委員会	社団法人全国公立文化	2008
資料	MA	Kk1	1	音楽理論の基礎	笠原潔	放送大学教育振興会	2007
資料	MA	Nc1	1	クラシック音楽事業ガイド　二〇〇七	社団法人日本クラシック音楽事業協会	社団法人日本クラシッ	2007
資料	MA	Nn1	1	博学博多　ふくおか『深』発見	西日本新聞社	西日本新聞社	2007
資料	MA	Pi1	1	ぴあmap ホール・劇場・スタジアム	ぴあ株式会社	ぴあ株式会社	2007
資料	MA	Ra1	1	Digital Processing of Speech Signals	L.R.Rabiner R.W.Schafer	Prentice Hall	1978
資料	MA	Si1	1	広辞苑第六版	新村出編	岩波書店	2007
資料	MA	Ty1	1	芸術・文化・社会	徳丸吉彦・青山昌文	放送大学教育振興会	2006
資料	MA	Wl1	1	Speaking	Willem J,M.Levelt	A Bradford Book; Repri	1989
資料	MA	Os1	1	室内音響学講義ノート2009年度版	九州大学芸術工学部音響設計学科	九州大学芸術工学部音	—
資料	MA	Os2	1	音響理論演習 II 講義ノート2009年度版	九州大学芸術工学部音響設計学科	九州大学芸術工学部音	—
舞台芸術	PE	Am1	1	狂言ハンドブック	油谷光雄、小林責	三省堂	2000
舞台芸術	PE	Cs1	1	演劇制作マニュアル	財団法人地域創造	財団法人地域創造	2006
舞台芸術	PE	Cs2	1	公立文化施設職員のための制作基礎知識	財団法人地域創造	財団法人地域創造	2004
舞台芸術	PE	Dn1	1	歌舞伎にアクセス(劇場に行こう)	伊達なつめ	淡交社	2003
舞台芸術	PE	Fh1	1	日本舞踊ハンドブック	藤田洋	三省堂	2001
舞台芸術	PE	Fh2	1	文楽ハンドブック	藤田洋	三省堂	2003
舞台芸術	PE	Fh3	1	歌舞伎ハンドブック	藤田洋	三省堂	2006
舞台芸術	PE	Ha1	1	金と芸術 なぜアーティストは貧乏なのか	Hans Abbing、山本和弘 (翻訳)	qrambooks	2007
舞台芸術	PE	Ij1	1	生活の芸術化　ラスキン、モリスと現代	池上惇	丸善株式会社	1993
舞台芸術	PE	Iy1	1	能にアクセス(劇場に行こう)	井上由理子	淡交社	2003
舞台芸術	PE	Jb1-1	1	芸術の売り方――劇場を満員にするマーケティング	ジョアン シェフ バーンスタイン 山本章子	英治出版	2007
舞台芸術	PE	Jb1-2	2	芸術の売り方――劇場を満員にするマーケティング	ジョアン シェフ バーンスタイン 山本章子	英治出版	2007

分類			冊数	書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
舞台芸術	PE	Jb1-3	3	芸術の売り方――劇場を満員にするマーケティング	ジョアン シェフ バーンスタイン 山本章子	英治出版	2007
舞台芸術	PE	Kk2	1	宝塚　消費社会のスペクタクル	川崎賢子	講談社	1999
舞台芸術	PE	Km1	1	舞台技術入門シリーズ（2）舞台監督の仕事	加藤正信	レクラム社	1999
舞台芸術	PE	Kt1	1	演出家の仕事	栗山民也	岩波書店	2007
舞台芸術	PE	Ky1	1	能楽ハンドブック	小林保治、戸井田道三	三省堂	2000
舞台芸術	PE	Mm1	1	文楽にアクセス(劇場に行こう)	松平盟子	淡交社	2003
舞台芸術	PE	Nq1	1	能と狂言〈6〉特集 能楽の舞台空間	能楽学会	能楽学会	2008
舞台芸術	PE	Nk1	1	祝祭の仮設舞台―神楽と能の組立て劇場	西和夫	彰国社	1997
舞台芸術	PE	Oa1	1	日本の現代演劇	扇田昭彦	岩波新書	1995
舞台芸術	PE	Oa2	1	舞台は語る―現代演劇とミュージカルの見方	扇田昭彦	集英社	2002
舞台芸術	PE	Oh1-1	1	日本の古典芸能における演出	小山弘志	岩波書店	2004
舞台芸術	PE	Oh1-2	2	日本の古典芸能における演出	小山弘志	岩波書店	2004
舞台芸術	PE	Oh1-3	3	日本の古典芸能における演出	小山弘志	岩波書店	2004
舞台芸術	PE	Oh1-4	4	日本の古典芸能における演出	小山弘志	岩波書店	2004
舞台芸術	PE	Oh1-5	5	日本の古典芸能における演出	小山弘志	岩波書店	2004
舞台芸術	PE	Ok1	1	観劇にやくだつ舞台芸術「表」「裏」絵事典―小道具から舞台装置まで	織田 紘二	ＰＨＰ研究所	2006
舞台芸術	PE	Or1	1	舞台芸術専門家という仕事 (仕事シリーズ(8))	大山 礼二	べりかん社	1996
舞台芸術	PE	Os1	1	狂言にアクセス(劇場に行こう)	小野幸恵	淡交社	2004
舞台芸術	PE	Pe1	1	舞台芸術<01>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2002
舞台芸術	PE	Pe2	1	舞台芸術<02>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2002
舞台芸術	PE	Pe3	1	舞台芸術<03>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2003
舞台芸術	PE	Pe4	1	舞台芸術<04>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2003
舞台芸術	PE	Pe5	1	舞台芸術<05>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2004
舞台芸術	PE	Pe6	1	舞台芸術<06>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2004
舞台芸術	PE	Pe7	1	舞台芸術<07>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2004
舞台芸術	PE	Pe8	1	舞台芸術<08>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2005
舞台芸術	PE	Pe9	1	舞台芸術<09>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2006
舞台芸術	PE	Pe10	1	舞台芸術<10>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	京都造形芸術大学舞台	2006
舞台芸術	PE	Pe11	1	舞台芸術<11>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	角川学芸出版	2007
舞台芸術	PE	Pe12	1	舞台芸術<12>	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター	角川学芸出版	2007
舞台芸術	PE	Sk1	1	演出の時代	佐々木健一	春秋社	1994
舞台芸術	PE	Ty1	1	舞台技術入門シリーズ（4）図解　舞台美術の基礎知識	滝善光	レクラム社	2005
舞台芸術	PE	Wh1	1	宝塚歌劇の変容と日本近代	渡辺裕	新書館	1999
文化政策	PO	Cs1	1	海外ケーススタディ　芸術文化の非営利活動／地域振興／制度	財団法人地域創造	財団法人地域創造	
文化政策	PO	Cs2	1	伝承のとりくみ　雅楽・文楽・芝居・祭り	財団法人地域創造	財団法人地域創造	
文化政策	PO	Gk1	1	芸術文化の公共政策	後藤 和子	勁草書房	1999
文化政策	PO	Gk2	1	文化政策学―法・経済・マネジメント (有斐閣コンパクト)	後藤 和子	有斐閣	2001
文化政策	PO	Gk3	1	文化と都市の公共政策―創造的産業と新しい都市政策の構想	後藤 和子	有斐閣	2005
文化政策	PO	Im1	1	入門 文化政策―地域の文化を創るということ	井口貢	ミネルヴァ書房	2008
文化政策	PO	Jz1	1	COMPARING Cultural Policy	Joyce Zemans, Archie Kleingartner…ed.	Altamira press	1999

分類		冊数		書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
文化政策	PO	Kg1	1	芸術文化がまちをつくる　地域文化政策の担い手たち	古賀弥生	九州大学出版会	2008
文化政策	PO	Km1	1	文化権の確立に向けて　文化振興法の国際比較と日本の現実	小林 真理	勁草書房	2004
文化政策	PO	Kt1	1	アメリカの芸術文化政策	片山泰輔	日本経済評論社	2006
文化政策	PO	Ky1	1	パブリックアート政策―芸術の公共性とアメリカ文化政策の変遷 (文化政策	工藤 安代	勁草書房	2008
文化政策	PO	Mk1	1	市民文化と文化行政	森 啓	学陽書房	1988
文化政策	PO	Ms1	1	芸術創造拠点と自治体文化政策	松本茂章	水曜社	2005
文化政策	PO	Na1	1	文化政策の法的基盤―文化芸術振興基本法と文化振興条例	根木 昭	水曜社	2003
文化政策	PO	Ng1	1	芸術文化にかかわる法制資料集―芸術文化基本法の制定に向けて	日本芸能実演家団体協議会 芸団協	日本芸能実演家団体協	2001
文化政策	PO	Sm1	1	創造都市への展望―都市の文化政策とまちづくり	佐々木 雅幸 総合研究開発機構	学芸出版社	2007
文化政策	PO	Tt1	1	芸術文化政策Ⅰ　社会における人間と芸術	徳丸吉彦　利光功	放送大学教育振興会	2002
文化政策	PO	Tt1-2	2	芸術文化政策Ⅰ　社会における人間と芸術	徳丸吉彦　利光功	放送大学教育振興会	2002
文化政策	PO	Kn1	1	世界の芸術文化政策	笠原潔　西村清和	放送大学教育振興会	2008
文化政策	PO	Ym1	1	アート戦略都市 EU・日本のクリエイティブシティ	吉本 光宏 国際交流基金	鹿島出版会	2006
指定管理者	SK	Bn1	1	指定管理者制度で何が変わるのか (文化とまちづくり叢書)	文化政策提言ネットワーク	水曜社	2004
指定管理者	SK	Cq1	1	1冊でわかる!地方公共団体のアウトソーシング手法―指定管理者・地方独立	地方行政改革研究会	ぎょうせい	2001
指定管理者	SK	Cm1	1	指定管理者制度ハンドブック	地域協働型マネジメント研究会	ぎょうせい	2004
指定管理者	SK	Dn1	1	最新事例 指定管理者制度の現場	出井 信夫 吉原 康和	学陽書房	2006
指定管理者	SK	Km1	1	指定管理者制度―文化的公共性を支えるのは誰か	小林 真理	時事通信出版局	2006
指定管理者	SK	Ni1	1	指定管理者は今どうなっているのか (文化とまちづくり叢書)	中川 幾郎 松本 茂章	水曜社	2007
指定管理者	SK	Nk1	1	公共ホールの政策評価―「指定管理者制度」時代に向けて	中矢 一義	慶應義塾大学出版会	2005
指定管理者	SK	Ny1	1	指定管理者制度のすべて―制度詳解と実務の手引	成田 頼明	第一法規	2005
指定管理者	SK	Sb1	1	指定管理者制度と情報公開―ブラックボックスにさせないための条件	斎藤 文男	自治体研究社	2006
舞台音響	SO	Gb1-1	1	舞台音響技術概論	現代舞台音響技術フォーラム	兼六館出版	2002
舞台音響	SO	Gb1-2	2	舞台音響技術概論	現代舞台音響技術フォーラム	兼六館出版	2002
舞台音響	SO	Kh1	1	すぐに使える!PAお役立ちハンドブック 現場で困らないマイキング、エフェ	玖島 博喜	リットーミュージック	2007
舞台音響	SO	Kt1	1	PA入門―基礎が身に付くPAの教科書	小瀬 高夫 須藤 浩	リットーミュージック	2005
舞台音響	SO	Ky1	1	10年後も「定番」いい音を選ぶ (MOOK21)(1)	AUDIO BASIC	共同通信社	2006
舞台音響	SO	Ky2	1	10年後も「定番」いい音を選ぶ (MOOK21)(2)	AUDIO BASIC	共同通信社	2007
舞台音響	SO	Mk1	1	PAの全知識―コンサートの裏側、見せます	宮沢 清人	リットーミュージック	2004
舞台音響	SO	Mn1	1	まもなく開演 改訂版―コンサートホールの音響の仕事 (シリーズアーツマネ	三好 直樹	新評論	2007
舞台音響	SO	Nk1-1	1	MALTABによる制御理論の基礎	野波健蔵　西村秀和	東京電機大学出版局	1998
舞台音響	SO	Nk1-2	2	MALTABによる制御理論の基礎	野波健蔵　西村秀和	東京電機大学出版局	1998
舞台音響	SO	Nk2	1	MALTABによる制御系設計	野波健蔵　西村秀和　平田光男	東京電機大学出版局	1998
舞台音響	SO	No1	1	プロ音響データブック	日本音響家協会編	リットーミュージック	2001
舞台音響	SO	Nt1	1	長岡鉄男のわけのわかるオーディオ	長岡 鉄男	音楽之友社	1999
舞台音響	SO	Ot1	1	オペラと音響デザイナー―音と響きの舞台をつくる (シリーズ・アーツマネ	小野 隆浩	新評論	2002
舞台音響	SO	Rm1	1	プロが答えるサウンド&レコーディングQ&A百問百答+20 (リットーミュージ	サウンド＆レコーディング・マガジン	リットーミュージック	2006
舞台音響	SO	Rm2	1	音響映像設備マニュアル2008	古森優	リットーミュージック	2008
舞台音響	SO	Wy1-1	1	ΔΣ型アナログ／デジタル変換器入門	和保孝夫　安田彰監訳	丸善株式会社	2007
舞台音響	SO	Wy1-2	2	ΔΣ型アナログ／デジタル変換器入門	和保孝夫　安田彰監訳	丸善株式会社	2007

分類		冊数		書名	著者・編者	発行・出版社	出版年
舞台音響	SO	Yk1	1	The Theatrical Sound Engineer's Bible	八板賢二郎	兼六館出版	2008
舞台機構	ST	Bq1	1	Buhnen technik	Bruno Grosel	Oldenbourg	2007
舞台機構	ST	Ja1-1	1	演出空間の基準・規則・安全について	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja1-2	2	演出空間の基準・規則・安全について	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja2	1	舞台機構機器の操作で使用される用語	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja2-2	2	舞台機構機器の操作で使用される用語	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja3	1	舞台機構操作で使用される用語と操作鉦等の配置	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja4	1	床機構安全指針・同解説	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja5	1	舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja6	1	舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja7	1	吊り物バトン積載荷重表示指針	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja8	1	吊り物機構安全指針・同解説	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Ja9	1	舞台機構設備の取扱説明書の内ＰＬに関連する事項	社団法人劇場演出空間技術協会	社団法人劇場演出空間技	—
舞台機構	ST	Kk1	1	劇場舞台設計計画	小泉嘉四郎	近代建築社	1975
舞台機構	ST	Kt1	1	劇場物語	小谷喬之助	相模書房	2001
舞台機構	ST	Mi1	1	音楽のための建築―17世紀から現代にいたる建築家と音楽家と聴衆	マイケルフォーサイス、別宮 貞徳、 長友 宗重	鹿島出版会	1990
舞台機構	ST	Nh1	1	進化する劇場　舞台の裏側は面白い	中山浩男	新評論	2006
舞台機構	ST	Ot1-1	1	劇場工学と舞台機構	小川俊朗	オーム社	2000
舞台機構	ST	Ot1-2	2	劇場工学と舞台機構	小川俊朗	オーム社	2000
舞台機構	ST	Ot1-3	3	劇場工学と舞台機構	小川俊朗	オーム社	2000
舞台機構	ST	Ot2	1	Theatre Engineering and Stage Machinery	Toshiro Ogawa	Entertainment Technolo	2001
舞台機構	ST	Sj1	1	創造を支える劇場技術者	齊藤譲一	新評論	2009
舞台機構	ST	Sk1	1	音のエンタテインメント（シリーズ・アーツマネジメント）	佐藤和明編著	新評論	2005
舞台機構	ST	Ue1	1	びわ湖ホール　オペラをつくる（シリーズ・アーツマネジメント）	上原恵美・井上建夫・牧野優・初田靖・小野隆浩著	新評論	2007
舞台機構	ST	Mn1	1	改訂版　まもなく開演（シリーズ・アーツマネジメント）	三好直樹著	新評論	2007
舞台機構	ST	Yk1	1	音で観る歌舞伎（シリーズ・アーツマネジメント）	八板賢二郎著	新評論	2009
舞台機構	ST	Ot1	1	［増補版］オペラと音響デザイナー（シリーズ・アーツマネジメント）	小野隆浩著	新評論	2010

ジャンル			メディア	タイトル	時間	レーベル	品番
演劇	AC	1	DVD	維新派 ヂャンヂャン☆オペラ 『ROMANCE 蒸気の街の映画少年たち』		エースデュースエンタテインメント	ADE-0383
演劇	AC	2	DVD	『浪人街』http://www.ponycanyon.co.jp/wtne/dvd/041223roun.html	152分	ポニーキャニオン	PCBX-50651
演劇	AC	3	DVD	『ダブリンの鐘つきカビ人間』2005年版 http://www.kojima.net/soft/nesy/shopping/dvd_detail.html?prid=9949065084507	134分	ポニーキャニオン	PCBE-51717
演劇	AC	4	DVD	ハムレット	193分	ポニーキャニオン	PCBE-50816
演劇	AC	5	DVD	ロミオとジュリエット	177分	ポニーキャニオン	PCBE-51512
演劇	AC	6	DVD	ヴェニスの商人	217分	ポニーキャニオン	PCBE-52609
バレエ	BL	1	DVD	Dancer's Dream〜パリ・オペラ座の華麗な夢 Vol. 3 ロミオとジュリエット	89分	キングレコード	TDBT-49
ダンス・舞踊	DN	1	DVD	ベルリン・フィルと子どもたち(指揮／サイモン・ラトル) コレクターズ・エディション	254分	レントラックジャパン	REDV-260
ジャズ	JZ	1	DVD	カウント・ベイシー アット・カーネギーホール	106分	ジェネオンエンタテイメント	GNBJ-5002
ジャズ	JZ	2	DVD	ソング・ブック ライヴ・アット・サントリー・ホール' 87(キース・ジャレット)	102分	ビデオアーツミュージック	VABZ5004
歌舞伎	KB	1	DVD	歌舞伎名作撰 勧進帳 中村富十郎、中村鴈治郎	77分	NHKエンタープライズ	NSVS-7854
歌舞伎	KB	2	DVD	中村勘九郎 平成中村座ニューヨーク公演「夏祭浪花鑑」完全密着	112分	ポニーキャニオン	PCBC-50665
伝統芸能(日本)	JG	1	DVD	高野山の心〜千二百年の時を超え	62分	ワック株式会社	WAC-D523
伝統芸能(日本)	JG	2	DVD	米朝落語全集第1集 帯久 足上り	72分	東芝EMI株式会社	TOBS-1021
伝統芸能(世界)	WG	1	DVD	世界無形文化遺産 昆曲	30分	コニービデオ	DNN-644
伝統芸能(世界)	WG	2	DVD	魂の声〜パンソリとシナウィ	126分	キングレコード	KIBM 1037
ミュージカル	MS	1	DVD	バーンスタイン:《ウェスト・サイド・ストーリー》メイキング・オブ・レコーディング	88分	ユニバーサルミュージック	UCBG-9053
能・狂言	NK	1	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 葵上 実盛	89分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11012)
能・狂言	NK	2	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 鞍馬天狗・白頭 恋重荷	112分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11013)
能・狂言	NK	3	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 羽衣 綾鼓	89分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11014)
能・狂言	NK	4	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 通小町 鶴	90分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11015)
能・狂言	NK	5	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 仕舞 一調 舞囃子集	91分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11016)
能・狂言	NK	6	DVD	能楽名演集 DVD－BOX Ⅱ 木六駄 武悪 見物左衛門	93分	NHKエンタープライズ	NSDX-11018 (11017)
能・狂言	NK	7	DVD	観世流能 紅葉狩(もみじがり) －鬼揃－	99分	ビクターエンタテインメント	VZBG-5
能・狂言	NK	8	DVD	京都大蔵流 茂山千五郎家 狂言への招待	82分	NHKエンタープライズ	NSDS-8602
能・狂言	NK	9	DVD	世田谷パブリックシアター芸術監督野村萬斎プログラムシリーズ 狂言劇場 その弐	117分	コロムビア	COBB-5406
オペラ・オペレッタ	OP	1	DVD	R.シュトラウス:歌劇「ばらの騎士」 ウィーン国立歌劇場／クライバー指揮 (2002)	186分	ユニバーサル ミュージック	UCBG-3006
オペラ・オペレッタ	OP	2	DVD	R. シュトラウス 歌劇《バラの騎士》全曲/ロイヤルオペラハウス	197分	WARNER MUSIC JAPAN	WPBS-90089
オペラ・オペレッタ	OP	3	DVD	ベルリーニ:歌劇《ノルマ》 /バイエルン国立歌劇場	164分	ユニバーサル ミュージック	UCBG1215
オペラ・オペレッタ	OP	4	DVD	ニューイヤーコンサート2006 フェニーチェ歌劇場	55分	TDKコア	TDBA-0127
オペラ・オペレッタ	OP	5	DVD	オペラ「ノルマ」はこうして創られる〜出演者が語るシーンづくり秘話〜		カメラータ・トウキョウ	LVVC-009
オペラ・オペレッタ	OP	6	DVD	ワーグナー:楽劇「ニーベルングの指輪」序夜「ラインの黄金」	162分	ポリドール	POBG-1001
オペラ・オペレッタ	OP	7	DVD	ワーグナー:楽劇「ニーベルングの指輪」第1夜「ヴァルキューレ」		ポリドール	POBG-1002
オペラ・オペレッタ	OP	8	DVD	ワーグナー:楽劇「ニーベルングの指輪」第1夜「ヴァルキューレ」		ポリドール	POBG-1003

ジャンル			メディア	タイトル	時間	レーベル	品番
オペラ・オペレッタ	OP	9	DVD	ワーグナー：楽劇「ニーベルングの指輪」第2夜「ジークフリート」	252分	ポリドール	POBG-1004
オペラ・オペレッタ	OP	10	DVD	ワーグナー：楽劇「ニーベルングの指輪」第2夜「ジークフリート」		ポリドール	POBG-1005
オペラ・オペレッタ	OP	11	DVD	ワーグナー：楽劇「ニーベルングの指輪」第3夜「神々の黄昏」	280分	ポリドール	POBG-1006
オペラ・オペレッタ	OP	12	DVD	ワーグナー：楽劇「ニーベルングの指輪」第3夜「神々の黄昏」		ポリドール	POBG-1007
オペラ・オペレッタ	OP	13	DVD	「美しきヘレナ」 ユニテル・オペレッタシリーズ	115分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	14	DVD	「チャールダーシュの女王」 ユニテル・オペレッタシリーズ	101分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	15	DVD	「微笑みの国」 ユニテル・オペレッタシリーズ	104分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	16	DVD	「ジュディッタ」 ユニテル・オペレッタシリーズ	101分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	17	DVD	「ヴェネツィアの一夜」 ユニテル・オペレッタシリーズ	100分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	18	DVD	「こうもり」 ユニテル・オペレッタシリーズ	143分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	19	DVD	「ルクセンブルク伯爵」 ユニテル・オペレッタシリーズ	99分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	20	DVD	「パガニーニ」 ユニテル・オペレッタシリーズ	113分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	21	DVD	「マリッツァ伯爵令嬢」 ユニテル・オペレッタシリーズ	107分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	22	DVD	「サーカスの女王」 ユニテル・オペレッタシリーズ	116分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	23	DVD	「ドルの女王」 ユニテル・オペレッタシリーズ	91分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	24	DVD	「オペラ舞踏会」 ユニテル・オペレッタシリーズ	104分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	25	DVD	「ウィーン気質」 ユニテル・オペレッタシリーズ	101分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	26	DVD	「ジプシー男爵」 ユニテル・オペレッタシリーズ	97分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	27	DVD	「ジプシーの恋」 ユニテル・オペレッタシリーズ	91分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	28	DVD	「ロシアの皇太子」 ユニテル・オペレッタシリーズ	95分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	29	DVD	「こうもり」 ユニテル・オペレッタシリーズ	155分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	30	DVD	「メリー・ウィドウ」 ユニテル・オペレッタシリーズ	133分	ドリームライフ	DLVC-6004
オペラ・オペレッタ	OP	31	DVD	モーツァルト22　歌劇《魔笛》	176分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1047/8
オペラ・オペレッタ	OP	32	DVD	モーツァルト22　歌劇《後宮からの誘拐》	156分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1049/50
オペラ・オペレッタ	OP	33	DVD	モーツァルト22　歌劇《にせの女庭師》	160分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1185/6
オペラ・オペレッタ	OP	34	DVD	モーツァルト22　歌劇《牧人の王》	122分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1187
オペラ・オペレッタ	OP	35	DVD	モーツァルト22　歌劇《ドン・ジョバンニ》	180分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1051/2
オペラ・オペレッタ	OP	36	DVD	モーツァルト22　歌劇《ルーチョ・シッラ》	147分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1189/90
オペラ・オペレッタ	OP	37	DVD	モーツァルト22　歌劇《アルバのアスカーニョ》	106分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1191
オペラ・オペレッタ	OP	38	DVD	モーツァルト22　歌劇《ツァイーデ》《アダマ》	128分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1192/3
オペラ・オペレッタ	OP	39	DVD	モーツァルト22　歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》	182分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1053/4
オペラ・オペレッタ	OP	40	DVD	モーツァルト22　歌劇《救われたベトゥーリア》	128分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1194/5
オペラ・オペレッタ	OP	41	DVD	モーツァルト22　歌劇《アポロとヒュアキントス》《第一戒律の責務》	184分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1196/7
オペラ・オペレッタ	OP	42	DVD	モーツァルト22　歌劇《ポント王のミトリダーテ》	151分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1055/6
オペラ・オペレッタ	OP	43	DVD	モーツァルト22　歌劇《イドメネオ》	165分	ユニバーサルミュージック	UCBD-1057/8

ジャンル			メディア	タイトル	時間	レーベル	品番
オペラ・オペレッタ	OP	44	DVD	モーツァルト２２　歌劇《シピオーネの夢》	108分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1198
オペラ・オペレッタ	OP	45	DVD	モーツァルト２２　歌劇《みてくれのばか娘》	129分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1199
オペラ・オペレッタ	OP	46	DVD	モーツァルト２２　歌劇《騙された花婿》《カイロの鷲鳥》その他	195分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1200/01
オペラ・オペレッタ	OP	47	DVD	モーツァルト２２　歌劇《フィガロの結婚》	201分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1202/3
オペラ・オペレッタ	OP	48	DVD	モーツァルト２２　歌劇《皇帝ティートの慈悲》	159分	ユニバーサルミュージック	UCBX-1038/9
オペラ・オペレッタ	OP	49	DVD	モーツァルト２２　歌劇《劇場支配人》《バスティアンとバスティエンヌ》	107分	ユニバーサルミュージック	UCBG-1188
管弦楽	OR	1	DVD	モーツァルト《レクイエム》 ウィーン楽友協会大ホール 1981年(アーノンクール)	75分	TDKコア	TDBA-0130
管弦楽	OR	2	DVD	ベルリン・フィル ヨーロッパ・コンサート1991 スメタナ・ホールのアバド	97分	ジェネオン　エンタテインメント	GNBC-4108
管弦楽	OR	3	DVD	ベートーヴェンの贈り物～チョン・ミョンフンこども音楽館～	91分	Exton	BFBA-00004
管弦楽	OR	4	DVD	ガーディナー／ベルリオーズ:幻想交響曲	56分	ユニバーサル ミュージック	UCBP-9003
声楽曲	VC	1	DVD	ロイヤル・アルバート・ホール・リサイタル(ソプラノ；アップショウ)	71分	WARNER MUSIC JAPAN	WPBS-90231
ホール資料	HA	1	DVD	歓喜の歌	217分	株式会社ハピネット	BIBJ-7659

HME 育成ユニット設備等

本育成ユニットでは授業科目を「ホール芸術科目群」、「ホールマネジメント科目群」、「ホール工学科目群」、「共通科目群」の４つに分けた。これらの内、ホール工学科目群には文化施設ホールに設備されている「音響設備」、「照明設備」、「舞台設備」に関する授業科目がある。これらの授業実施は講義形式を主体としているが、諸設備の取り扱いを具体的に行う実習授業も必要であることから、その実習に使用する各設備を導入した。

音響設備としては、ミキシングコンソール、アンプ、マイクロホン、スピーカ、ケーブル等である。照明設備としては調光卓、各種ライト、電源・延長コード、フィルターなどである。舞台設備は機構そのものが巨大であり、授業用としては整備できないので舞台の縮尺カットモデルを導入した。加えて、ホールマネジメントプロジェクト用にグランドピアノ一台を導入した。これらの管理運用は HME 育成ユニット推進室で行った。

これら諸設備を表にまとめて次ページ以降に示す。

九州大学大学院芸術工学府　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット　音響機材一覧

製品名	型番/形状	個数	色	長さ	備考
システムラック	AURORA ALB-30U	1 台			
ミキサー	MIDAS VENICE240	1 台			
コントロールスペース	BOSE ESP-88（拡張カード，リモコン含む）	1 台			システムラック積
制御用パソコン	DELL Latitude D620	1 台			
アンプ	Roland SRA-2500	7 台			
パワーアンプ	BOSE 1200VI	3 台			システムラック積
ダイナミックマイクロホン	SHURE SM-58	4 本			
コンデンサマイクロホン	AKG C-451-B	4 本			ホルダー付
バウンダリーマイクロホン	crown GPCC160	1 枚			ケーブル付（XLR3♂出し）
マイクホルダー	MIC-EZE M-4	3 個			
マイクスタンド	K&M ST210/2	3 本			
HDDレコーダー	TASCAM DP-01FX/CD	1 台			
CDプレイヤー	TASCAM CD-01UPRO	1 台			
測定用マイクロホン	MBHO MBNM550EL	1 台			
測定用プリアンプ	GRACE DESIGN MODEL101	1 台			
測定用ソフト	SMAARTLIVE5	1 式			
ディストリビューター	Fostex PH - 100	1 台			
ヘッドフォン	ATH-M30	12 個			
スピーカ	BOSE 101MM	8 台			
	Roland SST-251	8 台			産学連携センターより
サブロースピーカ	BOSE MB4	2 台			
スピーカスタンド	BOSE MK-4	8 台			BOSE 101MM用
ケーブル	XLR3♀ - XLR4♀	8 本	黒	15 m	ITT CANNON
	XLR3♀ - XLR3♂	5 本		15 m	
		1 本		15 m	NEUTRIK
	XLR3♂ - 標準110♂	16 本	青	5 m	NEUTRIK - CANARE F16
		11 本		14 m	
	XLR3♀ - 標準100♂　×8	2 本	銀	2.5 m	アクースモニウム用（特注）
	RCA ×2 - 標準100♂　×2	3 本	黒	3 m	audio-technica ATL4A81/3.0
	RCA - 標準100♂	2 本		1 m	
	標準100♀ - 標準100♂	2 本		5 m	
	バナナ - XLR4♀	8 本		0.2 m	Roland SRA-2500 OUT用（画像参照）
	NC5FXX - NC5MXX	1 本		15 m	NEUTRIK
	NL4FC - XLR4♂	4 本	灰	2.5 m	SPEAKON - ITT CANNON
		4 本		5 m	
	NL4FC - XLR4♀	2 本	黒	15 m	

九州大学大学院芸術工学府　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット　照明機材一覧（その１）

製品名	型番/形状	個数	色	長さ	備考
調光卓	SMART FADE 2496	1　台			ハードケース入、クリップライト付
DMX信号ケーブル	CBL - DM - A	1　本	黒	10　m	5♂ - 5♂ NEUTRIK
		1　本		20　m	
調光器	ZMT3 - 2012	1　台			12CH / 1LINE
電源ケーブル	ZMT3 - 2012 用	5　本	黒	3　m	端子（φ22/12） - カムロック
	ZMT3 - 2012 用	5　本		10　m	
フレネルレンズライト	FQF - 500w	1　台			
	LNF2 - 120 - 1000w	1　台			
	HQE - 250H - 100w	1　台			
平凸レンズスポットライト	CSQ - 500w	1　台			
	CSQ - 1000w	1　台			
プロファイル	SF750 - 419	1　台			
スポットライト	SF750 - 450	1　台			
	アイリスシャッター ETI - F24	1　台			
	GOBOホルダ 400PH - A	2　枚			
	GOBO #7759	1　枚			DHA LIGHTING LTD
	GOBO #238 - 221	1　枚			
シンプルライト	SPHIII - AL	6　台			
ホリゾントライト	UHQ - 100w12L - 3C	2　台			
	LHQ - 100w12L - 3C	2　台			
延長コード	CBL - C2C2	5　本		5　m	
		10　本		10　m	
		5　本		20　m	
分岐コード	BRC - C2/2C2	5　本		1.5　m	2分岐
変換コード	平行 - miniC	2　本		1　m	
	miniC-平行	1　本		1　m	
電源コード	電工ドラム	2　個	緑	29　m	4TAP
	電工コード	12　本	黒	10　m	3TAP
カラーフィルター	ポリカラー	一　式			東京舞台照明
難燃性紙フィルタホルダ	4.5吋	4　枚			
	6吋	12　枚			
	8吋	12　枚			
ハンガー	HAS II	14枚			
スタンド	AL - 731	5本			三脚

九州大学大学院芸術工学府　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット　照明機材一覧（その２）

製品名	型番/形状	個数	色	長さ	備考
平置ベース	SHB - 10	5　個			三足
トンボ	AMT	4　本			三連
アルミ製金属操作棒	MCB - L	1　本			3.4~7.0m
電源ボックス	三菱 NO - FUSE BREAKER NF125 - CW 仕様	1　機			単相三線（AC200V / 100A）
測定器	SANWA クランプメータ DCL30DR	1　台			
	SANWA DIGITAL MULTIMETER CD772	1　台			
	HIOKI DIGITAL Insulation Resistance Tester 3453	1　台			
予備球		一　式			

九州大学大学院芸術工学府　ホールマネジメントエンジニア育成ユニット　備品・機材等一覧

製品名	型番/形状	個数	色	長さ	備考
グランドピアノ	Yamaha C7A	1　台			
舞台機構模型		1　機			
無線	トランシーバー IC - 4008W	8　個			ICOM
	バッテリーパック BP - 202	8　個			
	充電器 BC - 119NL #35	8　個			
	ヘッドセット HS - 85	8　個			

謝辞

この冊子に記された内容は平成 19 年度から平成 23 年度までの 5 カ年間、文部科学省　科学技術振興調整費の「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」の採択を受け、国の委託事業として九州大学大学院芸術工学府に開設された「ホールマネジメントエンジニア育成ユニット」の全容である。この事業は福岡市の「地域再生計画」の「支援措置を適用して行う事業」の一つとして、九州大学大学院芸術工学府内に設置された「HME 育成ユニット実施委員会」が運営してきたものである。

この事業を実施するにあたり各方面の支援を受けた。学外の多くの方には講師として講義のため遠方より何度もお出でいただいた。大学内教員には通常担当授業以外に新しい授業科目を担当いただいた。授業科目「ホールマネジメントプロジェクト」を実施するにあたり地域の文化施設・組織には経費的・人的に多大な支援を受けた。また、本育成ユニットの実施状況に対して有識者の方々には外部の視点から貴重なご意見を頂いた。これらの支援に対して HME 育成ユニット実施委員会の名の下に深謝する。

発行日　　平成 24 年 3 月 31 日
九州大学大学院芸術工学府
ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
〒815-8540
福岡市南区塩原 4 丁目 9 番 1 号
TEL　（092）553-4552
印刷　城島印刷株式会社